

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-PX2000ULJD

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください

目次

はじめに	5
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	6
お願い	19
本書の表記について	22

1. 添付品や名称を確認する 23

1-1. 特長	23
1-2. 添付品の確認	25
1-3. 本体各部の名称	27
1-4. リモコン各部の名称	33

2. 映像を投写する（基本操作） 38

2-1. 映像を投写する流れ	38
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	39
2-3. 本機の電源を入れる	42
2-4. 入力信号を選択する	44
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する	44
本体の（INPUT）ボタンを押して選択する	44
オンスクリーンメニューを表示して選択する	45
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	46
投写画面の位置の調整（レンズシフト）	47
投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）	49
投写画面の大きさの調整（ズーム）	50
投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）	51
2-6. 本機の電源を切る	52

3. 便利な機能 54

3-1. 投写光を消去する（レンズシャッター）	54
3-2. 映像を消去する（AV ミュート）	54
3-3. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）	55
3-4. オンスクリーンメニューの表示位置を変更する	56
3-5. 動画を静止画にする（静止）	57
3-6. 映像の一部を拡大する（デジタルズーム）	57
3-7. 輝度（明るさ）の調整と省エネ効果（ライトモード）	58
3-8. 台形歪みを調整する（台形補正）	59
3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	60
3-10. レンズシフト調整値を保存する（レンズメモリー）	62
3-11. 投写画面の境界を調整する（エッジブレンディング）	64

4. オンスクリーンメニュー 69

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	69
4-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成	69
4-1-2. 調整バー	70

4-1-3.	確認メッセージ	70
4-1-4.	数字の変更	71
4-2.	オンスクリーンメニュー一覧	72
4-3.	入力端子	76
4-3-1.	入力切替	76
4-3-2.	オートソース	76
4-3-3.	カラースペース	76
4-3-4.	アスペクト	77
4-3-5.	オーバースキャン	78
4-3-6.	画像設定	78
4-3-7.	テストパターン	79
4-3-8.	3D	79
4-3-9.	自動調整	80
4-4.	映像	81
4-4-1.	プリセット	81
4-4-2.	コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相	81
4-4-3.	色温度	81
4-4-4.	色域	81
4-4-5.	ガンマ補正	82
4-4-6.	ホワイトバランス	82
4-3-7.	色補正	82
4-4-8.	ノイズリダクション	84
4-4-9.	ダイナミックコントラスト	84
4-4-10.	ライトオフタイマー	84
4-5.	表示	85
4-5-1.	レンズロック	85
4-5-2.	レンズ制御	85
4-5-3.	レンズメモリー	85
4-5-4.	レンズセントリング	86
4-5-5.	デジタルズーム	86
4-5-6.	幾何学補正	87
4-5-7.	ブランキング	91
4-5-8.	エッジブレンディング	92
4-5-9.	スクリーンタイプ	92
4-6.	セットアップ	93
4-6-1.	言語	93
4-6-2.	投写方法	93
4-6-3.	ファンモード	94
4-6-4.	オートパワーオフ	94
4-6-5.	ダイレクトパワーオン	94
4-6-6.	ネットワーク設定	95
4-6-7.	ライトモード	96
4-6-8.	ライト調整 (ライトモード)	97
4-6-9.	輝度一定モード (ライトモード)	97
4-6-10.	バックグラウンド	97
4-6-11.	起動時ロゴ	97
4-6-12.	リモコン	98
4-6-13.	TRIGGER 1/2	99
4-6-14.	メニュー設定	99

4-7. 情報と全データリセット	100
4-7-1. 情報	100
4-7-2. 全データリセット	100
5. 機器と接続する	101
5-1. 外部機器と接続する	101
6. 本体のお手入れ	103
6-1. レンズの清掃	103
6-2. キャビネットの清掃	104
7. 付 録	105
7-1. 投写距離とスクリーンサイズ	105
7-2. 対応解像度一覧	108
7-3. 仕様	111
7-4. 外観図	113
7-5. 主な端子のピン配列と信号名	114
7-6. 故障かな?と思ったら	115
7-7. インジケータ表示一覧	120
7-8. トラブルチェックシート	123
7-9. 別売品/商標について	125
7-10. 保証と修理サービス (必ずお読みください)	126
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内	裏表紙

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

●機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-PX2000UL」と表記しています。取扱説明書では、機種名の末尾に「JD」を付けて表記しています。

●ケーブルについて

HDMI、DisplayPort、BNC、SDI、LAN、RS232C ケーブルは、シールドタイプを使用してください。

コンピューターケーブル、DVI-D ケーブルは、フェライトコア付きを使用してください。

これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

設置について

RG3 製品である本機は、プロフェッショナル用途であり安全が担保される設置が必要です。そのため設置やレンズユニットの取り付けおよび取り外しは、専門のサービスマンが行うことが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因となります。

クラス1レーザー製品

● 本製品は、IEC/EN 62471-5 1st Edition: 2015 においてリスクグループ 3 に分類されています。



● 本書に掲載した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

レーザー光線の安全に関する警告

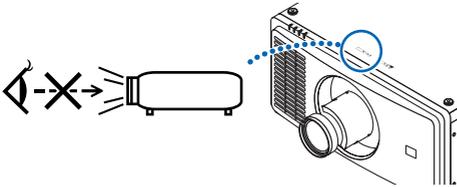
● 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2014、および IEC 60825-1 3rd Edition:2014 においてクラス 1 に分類されています。

● お子様に一人で本機を操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。

警告



- 目のビームの直接被ばくを禁止します。RG3 IEC/EN 62471-5:2015
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。
視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- レンズ取り付け部の上のプロジェクター天面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。



本機は日本国内専用です



決められた電源電圧以外での使用禁止

- 本機は交流 200 ~ 240V で使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いが大切に



- 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしない
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がある場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットが破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害ややけどの原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

警告

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などがいった場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

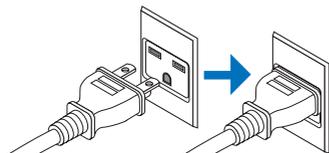
⚠️ 注意

清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

アース端子を接続する



- 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。また、接続の際に、2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は [39 ページ](#) をご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

電源コードのコネクターは電源コードストッパーで固定する



- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。([20 ページ](#))

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

注意

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運びは4人以上で行う



- 本機を持ち運ぶ場合は、底面の取っ手に手をかけて、4人以上で行ってください。4人未満で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

取っ手以外の部分を持たない



- 本機を持ち運ぶ場合に、取っ手以外の部分を持たないでください。落下してけがの原因となることがあります。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機のHDBaseT/LANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。HDBaseT/LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意



- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

レンズシフト調整は後方または横から行う



- レンズシフトの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

注意

レンズの取り外し / 取り付け



- レンズユニットの取り外し、取り付けを行う際は、プロジェクターの電源を切ってください。視力障害の原因となることがあります。
なお、レンズユニットの取り外しおよび取り付けについては、侵入禁止範囲 (HD) 内で行う作業のため、販売店にご依頼ください。

レンズユニットは落下防止用ワイヤーで固定する



- 天井吊りなど、本機を高所から吊り下げて設置するような場合は、落下防止用ワイヤー (市販品) を使ってレンズユニットを固定してください。固定しないと、レンズユニットが外れた場合に落下するおそれがあります。

持ち運びのときレンズ部分に手をかけない



- 本機を持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
また、レンズユニットを外した状態で本機を持ち運ぶときに、レンズの取り付け部に手をかけないでください。本機が破損して落下し、けがの原因となることがあります。

冷却液には触れない



- 本体が破損した場合、内部から冷却液がもれ出る場合があります。冷却液がもれた場合はすぐに AC 電源を切り、NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターにご相談ください。
もれ出た冷却液は飲んだり触れたりしないでください。万一口や目に冷却液が入ってしまった場合は、すみやかに医師に相談してください。手に触れた場合は水でよく洗い流してください。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性 (+ と - の向き) に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

注意

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意



- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
 - ・ 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
 - ・ スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
 - ・ 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- ・ 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがある場合は、視聴する前に医師に相談してください。
- ・ 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

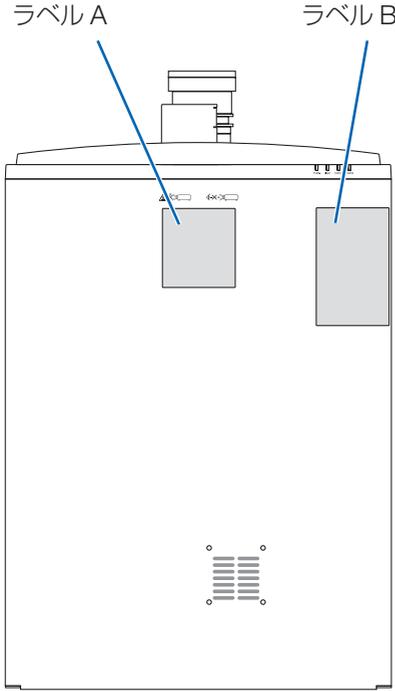
光源のレーザーモジュールについて

- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
 - 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2014、および IEC 60825-1 3rd Edition:2014 においてクラス 1 に分類されています。
 - 本製品は、IEC/EN 62471-5 1st Edition:2015 においてリスクグループ 3 に分類されています。
- 【内蔵されたレーザーの概要】
- ・ 波長：450-460nm (blue), 636-646nm (red)
 - ・ 最大出力：680W
- 【保護筐体から放出される放射パターン】
- ・ 波長 Blue：450-460nm
最大レーザー放射出力：0.45mJ
パルス幅：0.87ms
パルス周期：180Hz
 - ・ 波長 Red：636-646nm
最大レーザー放射出力：0.77mJ
パルス幅：1.77mS
パルス周期：180Hz

レーザー製品の説明ラベルは、プロジェクター本体の上面に貼付されています。

本機の警告ラベル

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください



ラベル A

LASER APERTURE
OUVERTURE LASER

FOR NORTH AMERICA

LASER RADIATION
AVOID DIRECT EYE EXPOSURE
CLASS 3R LASER PRODUCT
WAVE LENGTH: 450-460 nm (Blue)
MAX. PULSE ENERGY: 0.45 mJ (Blue)
PULSE DURATION: 0.87 ms (Blue)

WAVE LENGTH: 636-646 nm (Red)
MAX. PULSE ENERGY: 0.77 mJ (Red)
PULSE DURATION: 1.77 ms (Red)
IEC 60825-1:2007

RAYONNEMENT LASER
EXPOSITION DIRECTE DANGEREUSE POUR LES YEUX
APPAREIL À LASER DE CLASSE 3R
LONGUEUR D'ONDE : 450-460nm (Bleu)
ÉNERGIE D'IMPULSION MAX. : 0,45 mJ (Bleu)
DURÉE DE L'IMPULSION : 0,87 ms (Bleu)

LONGUEUR D'ONDE : 636-646nm (Rouge)
ÉNERGIE D'IMPULSION MAX. : 0,77 mJ (Rouge)
DURÉE DE L'IMPULSION : 1,77 ms (Rouge)
IEC 60825-1:2007

CLASS 1 LASER PRODUCT
IEC 60825-1:2014

APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
IEC 60825-1:2014

LASERPRODUKT DER KLASSE 1
IEC 60825-1:2014

등급 1 레이저 제품
IEC 60825-1:2014

第1類雷射產品
IEC 60825-1 : 2014
 クラス1 レーザ製品
JIS C 6802:2014

ラベル B

RISK GROUP 3
WARNING
DO NOT LOOK INTO THE BEAM.
NO DIRECT EYE EXPOSURE TO THE BEAM IS PERMITTED.
HAZARD DISTANCE: REFER TO THE MANUAL.

GROUPE DE RISQUE 3
AVERTISSEMENT
NE PAS REGARDER DIRECTEMENT DANS LE FAISCEAU.
L'EXPOSITION DIRECTE DE YEUX AU FAISCEAU EST INTERDITE.
DISTANCE À RISQUE: SE REPORTER AU MANUEL.

RISIKOGRUPPE 3
WARNUNG
SCHAUEN SIE NICHT IN DEN STRAHL.
DIREKTER AUGENKONTAKT MIT DEM STRAHL IST NICHT ERLAUBT.
SICHERHEITSABSTAND: SIEHE HANDBUCH.

ГРУППА РИСКА 3
ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ
НЕ СМОТРИТЕ НА ЛУЧ.
ЗАПРЕЩАЕТСЯ ЛЮБОЕ ПРЯМОЕ ВОЗДЕЙСТВИЕ ЛУЧА НА ГЛАЗА.
ОПАСНОЕ РАСТояНИЕ: СМ. РУКОВОДСТВО ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ.

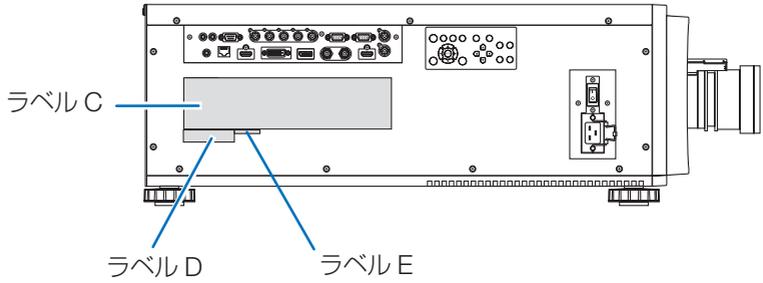
リスクグループ 3
警告
ビームを見ないこと。
目へのビームの直接視は禁止する。
障害距離: 取扱説明書を参照。

위험 그룹 3
경고
빔을 눈으로 보지 마십시오.
빔을 직접 눈에 노출하는 것은 허용되지 않습니다.
위험 거리: 설명서를 참조하십시오.

風險群組 3
警告
勿直接光源。
避免眼睛受到直接照射。
危害距離: 請參閱說明書。

风险组别 3
警告
请勿直视光束。
不允许将眼睛暴露于光束中。
有害距离: 请参阅手册。
IEC/EN 62471-5:2015

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください



ラベル C

NEC MODEL No. NP-PX2000UL

使用上の注意
 イ. 通風孔をふさがないでください。
 内部温度の上昇を招き故障の原因になります。
 ロ. 温度の高い場所や湿気の多い場所での使用はさけてください。

定格電圧 200-240V- 定格入力電流 9.7A 定格周波数 50/60Hz	⚠ 警告	高圧注意 サービスマン以外の方はトップカバーをあげないでください。 が図には高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。
--	-------------	---

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

MADE IN CHINA

表示者
 NECディスプレイソリューションズ株式会社
 東京都港区三田一丁目4番28号

ラベル D

Code39 : NP-PX2000ULJD YM2SSSSCR
 型名 NP-PX2000ULJD YM2SSSSCR

ラベル E

M/F Date: YYYY.MM.DD

レーザー光の放射範囲

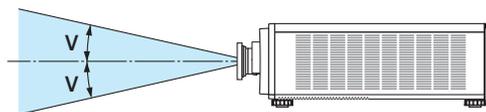
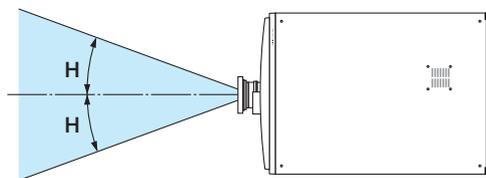
- 下図の範囲は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

水平放射角：H（単位：度）

レンズユニットの 型名	ズーム	
	テレ	ワイド
NP45ZL	22.0	28.3
NP46ZL	17.4	22.1
NP47ZL	13.9	18.2
NP48ZL	7.0	13.8
NP49ZL	4.0	7.0

垂直放射角：V（単位：度）

レンズユニットの 型名	ズーム	
	テレ	ワイド
NP45ZL	14.1	18.5
NP46ZL	11.1	14.2
NP47ZL	8.8	11.6
NP48ZL	4.4	8.7
NP49ZL	2.5	4.4



侵入禁止範囲 (HD: Hazard distance)

- 下図の範囲は、IEC/EN 62471-5 1st Edition 2015 にてリスクグループ 3 (RG3) に分類された投写光の範囲を表しています。
- 設置時には下記事項を順守してください。

人の目が RG3 の領域内に侵入しないようにバリアを設けること。

バリアは RG3 となる領域から水平距離 1m 以上の保安距離をとること。ただし、頭上に設置する場合は、床面と RG3 の領域の距離を 3m 以上確保すること。

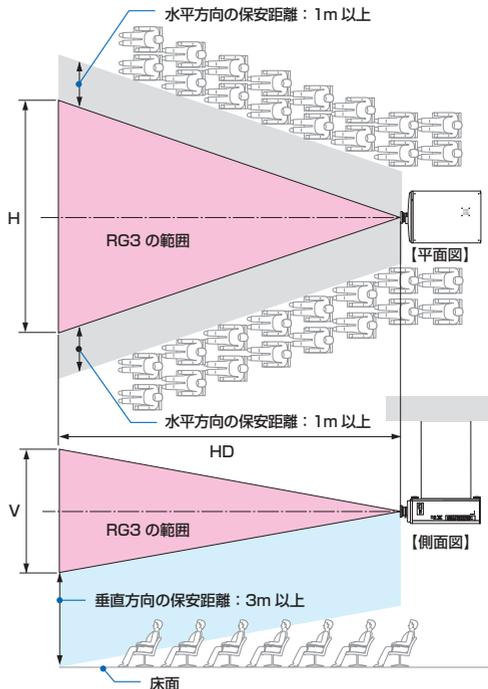
RG3 領域内での観客の目の暴露を防ぐ高さで本機を設置すること。

機器管理者 (オペレーター) は RG3 領域内への観客の侵入を制御すること。

レンズユニットの型名		投写距離(m) RG3 HD	画面サイズ(m)	
			H	V
NP45ZL	Wide	2.0	2.22	1.39
	Tele	2.5	2.06	1.29
NP46ZL	Wide	3.0	2.48	1.55
	Tele	3.5	2.22	1.39
NP47ZL	Wide	3.5	2.34	1.46
	Tele	4.5	2.25	1.41
NP48ZL	Wide	5.5	2.77	1.73
	Tele	6.5	1.65	1.03
NP49ZL	Wide	8.0	2.00	1.25
	Tele	9.5	1.35	0.85

下図は、代表的な設置の例です。この他に、プロジェクターを傾けて設置する場合も、同様に「保安距離」を確保する必要があります。

床置きまたはデスクトップ設置で投写する場合

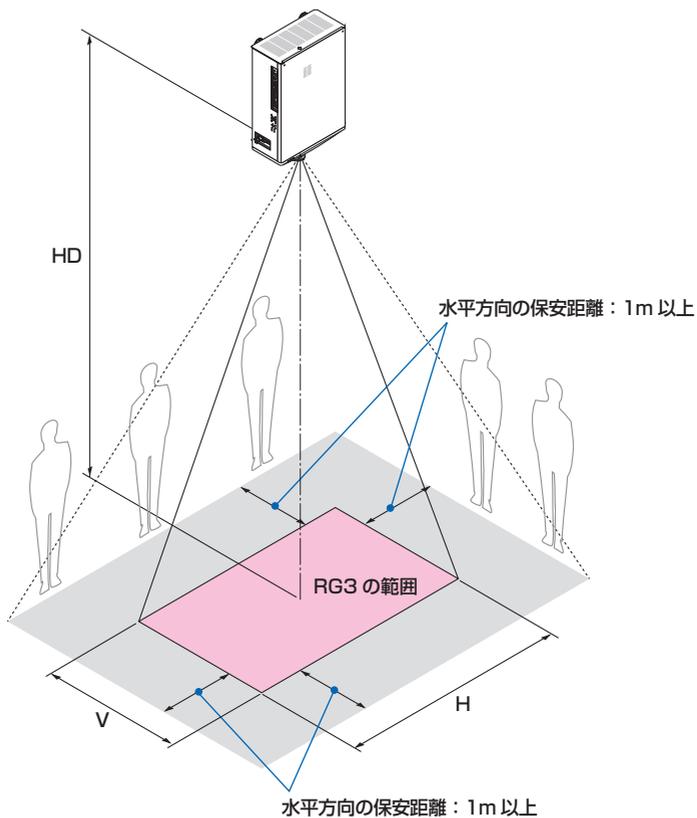


天吊り設置で投写する場合

※ レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

上面から床面へ投写する場合



※レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。

注意

安全確保のため、以下の事項を順守してください。

設置について

- RG3 製品である本機は、プロフェッショナル用途であり安全が担保される設置が必要です。そのため設置やレンズユニットの取り付けおよび取り外しは、専門のサービスマンが行うことが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因となります。
- 設置場所のレイアウト設計の際には本書に記載された安全への処置の実施を遵守すること。
- 危険回避のため、緊急時に電源プラグをコンセントから抜けるように、コンセントは手の届く範囲に設置すること。
もしくは、プロジェクターを停止できるようなデバイス（ブレーカー）を設けること。
- 前項の RG3 の領域へ人の目が入らないような安全処置を行うこと。
- 設置する場所に適したレンズを選定し、レンズごとに設定された安全のための領域を確保する処置を適切に行うこと。
プロジェクターを動作させて光の調整作業などを行う際は、必ず適切な処置が完了してから行うこと。
- 設置後にレンズごとに設定された安全確保の処置が適切に施行されているか妥当性の確認を行うこと。
妥当性の確認は定期的実施し、確認結果の記録を保管すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、安全に関する教育を機器使用前に必ず実施すること。

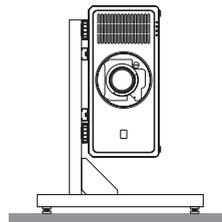
ご使用にあたって

- 機器管理者（オペレーター）に対して、動作前点検（投写光に対する安全の確認を含む）を必ず実施するように指示すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、プロジェクター動作時には必ず機器管理者（オペレーター）が緊急時の対応が出来るような状態で管理するように指示すること。
- 機器管理者（オペレーター）に対して、本書、点検記録をいつでも参照できることへ保存・保管しておくよう指示すること。
各国、各地域の規制を遵守した状態であることを明確にしておくように指示すること。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線や動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。
故障の原因となります。
 - ・強い磁界が発生する場所
 - ・腐食性のガスが発生する場所
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- 本機の設置角度に制限はありません。
ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。
 - ・レンズが下向きになる設置
 - ・ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置設置については販売店にご相談ください。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクターカスタマサポートセンターにご相談ください。
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高地」にしてください。(P.94 ページ)
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・本機を移動する際は、いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズユニットに添付のレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
 - ・プロジェクター本体に強い衝撃や振動をあたえないように注意して運んでください。

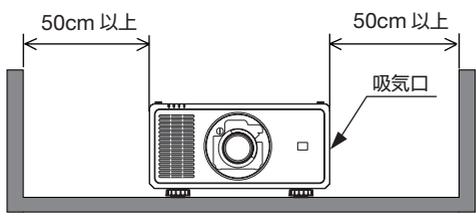
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

設置する際の周囲との距離についての注意

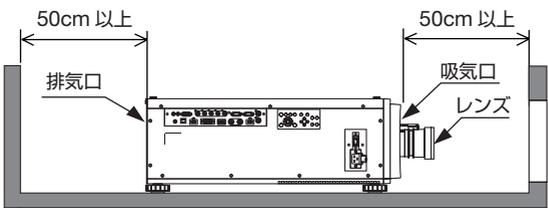
本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。
本機の温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。

例 1：本機の左右に壁がある場合



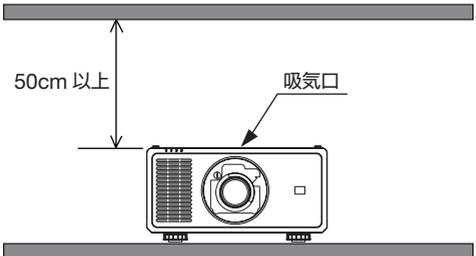
(注) 左の図において、プロジェクター本体の前後および上方は十分な空間があるものとします。

例 2：本機の後方に壁がある場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の両横および上方は十分な空間があるものとします。

例 3：本機の上方向に空間がない場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の両横および前後方向は十分な空間があるものとします。

別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃をあたえると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。なお、レンズユニットの取り外しは販売店にご依頼ください。

別売のレンズユニット取り付け時、または交換時の注意 (レンズセンタリング)

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の (HOME) ボタンを押すか、リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB) ボタンを押して、「レンズセンタリング」を実行してください。

(▶ 43, 86 ページ)

レンズセンタリングを行うことにより、レンズシフトの調整範囲を校正します。

電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本体の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- 本機の電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜くことができます。映像投写中に AC 電源を切断した直後や、本機の電源を切った直後は、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。アスペクト、台形補正、デジタルズーム、マルチスクリーンなどの機能を使用する場合はご注意ください。

本書の表記について

マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

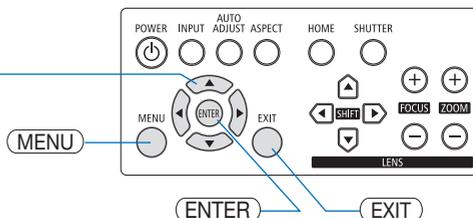
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

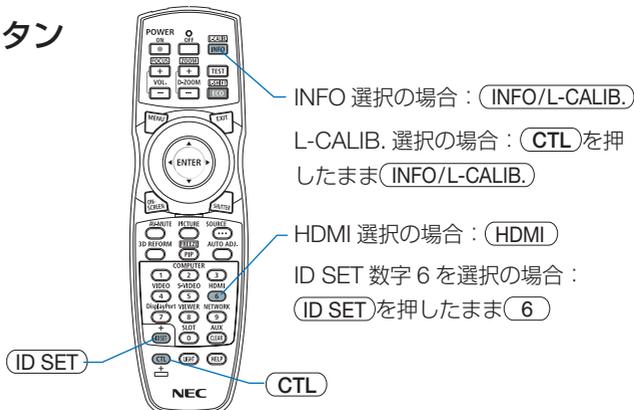
上下左右の場合：

左右の場合：

下の場合：

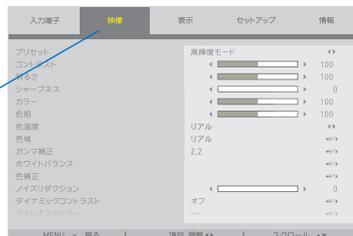


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「映像」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

■全般

●1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

本機は、表示解像度 1920 ドット × 1200 ライン (WUXGA)、アスペクト比 16:10、明るさ 20,000lm*1 を実現したプロジェクターです。

※1：明るさ

ノーマル時	18,000lm / 19,000lm (センター)
ブースト時	19,000lm / 20,000lm (センター)

「ブースト」は、ノーマルよりも明るくするモードです。詳しくは [58、96 ページ](#) をご覧ください。

●優れた防塵性能

光学エンジンおよび光源ユニットを密閉。ほこりや塵などによる光学部品の汚れを防いで*2、明るさを維持します。

*2 ただし、完全に遮断することはできません。

■光源・輝度

●長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

使用環境によってメンテナンス時間が短くなる場合があります。

●幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 30% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

●輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。

ただし、出力が最大になったあとは、使用時間に応じて輝度が下がります。

■設置

●設置場所に応じて選べるオプションレンズ

本機は 5 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

なお、工場出荷時はレンズが装着されていませんので、別途オプションレンズをお買い求めください。

●360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写が行えます。

ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。

- ・レンズが下向きになる設置
- ・ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置

●電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整（レンズシフト）ができます。

■映像

●HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDIなどの豊富な入力端子

HDMI (1/2)、DisplayPort、HDBaseT、SDI、BNC、DVI-D、COMPUTERの入力端子を装備しています。

本機のHDMI入力端子、DisplayPort入力端子は、HDCPに対応しています。

HDBaseTは、HDBaseT Allianceによって策定された家電製品向けの接続規格です。

●複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

複数台のプロジェクターを並べて、エッジブレンディング機能により画面の境界を滑らかにし、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。

●HDMI 3D方式に対応

本機は、市販のXPAND製3D対応のアクティブシャッター方式の3Dメガネと3Dエミッターという装置を使って3D映像を視聴することができます。

また、DLP® Link方式の3D映像にも対応しています。

■ネットワーク

●有線LAN対応

HDBaseT/LANポート(RJ-45)を装備しており、有線LANに接続してコンピューターから本機を制御することができます。

●便利なアプリケーションソフトに対応

当社のアプリケーションソフト(NaViSet Administrator 2、ProAssistなど)に対応しています。NaViSet Administrator 2は、コンピューターとプロジェクターを有線LANで接続して、コンピューター側からプロジェクターの様々な機能を制御するソフトウェアです。ProAssistは、コンピューターとプロジェクターを有線LANで接続して、コンピューターからプロジェクターのレンズ制御などを行うソフトウェアです。なお、ProAssistには、本機で対応していない機能があります。

各ソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてください。

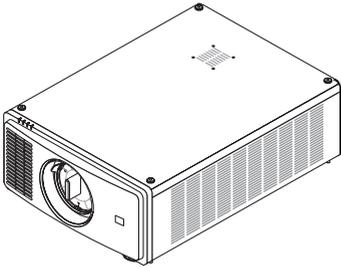
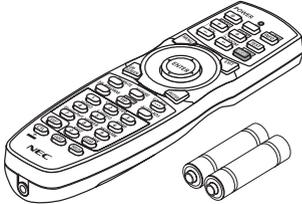
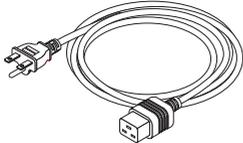
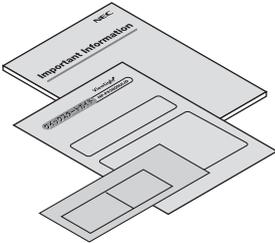
<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

●CRESTRON ROOMVIEW対応

本機はCRESTRON ROOMVIEWに対応しています。コンピューターから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター (本機) コンピューターやブルーレイプレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p>防塵キャップ (79THE051) 本体からレンズユニットを外したときの防塵用キャップです。大切に保管してください。 (注) レンズユニットは添付していません。ご利用目的に合ったレンズユニットをお買い求めください。 レンズユニットの種類と投写距離は 105 ページをご覧ください。</p>
	<p>リモコン (7N901041) 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3アルカリ乾電池2本をセットしてください。(35 ページ)</p> <p>単3アルカリ乾電池 (リモコン用) 2本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>AC200V 用電源コード (アース付き) (79TQ1021) AC200V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。(39 ページ)</p>
	<p>NEC Projector CD-ROM (7N952971) PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書(本書)を収録しています。</p>
	<p>Important Information (7N8R0251) 安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>クイックスタートガイド (7N8R0261) 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>

次ページに続く

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

レンズは別売です。レンズユニット NP47ZL を装着している状態で説明しています。

インジケータ表示部

電源入／スタンバイなど本機の状態をランプの点灯／点滅で知らせます。

(▶ 29, 120 ページ)

吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。

(▶ 20, 104 ページ)

レンズリリース (PUSH)

ボタン

レンズユニットの取り外しの際に使用します。(レンズユニットの取り付けおよび取り外しは販売店へ依頼してください。)

レンズ

ここから映像が投写されます。

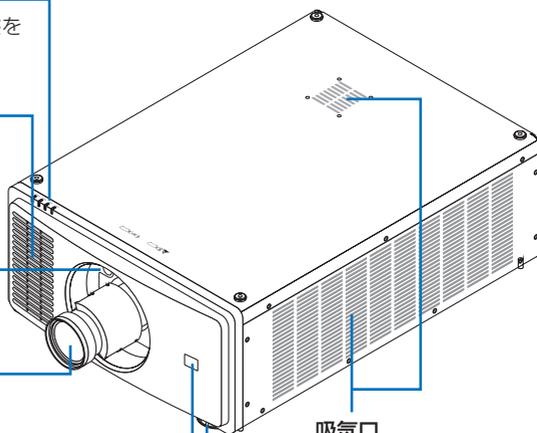
・レンズユニットは別売です。

(▶ 16, 105 ページ)



レンズキャップ (レンズユニットに装着)

レンズを保護します。



吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。(▶ 20, 104 ページ)

チルトフット (4箇所)

チルトフットを回して投写角度や左右の傾きを微調整します。(▶ 51 ページ)

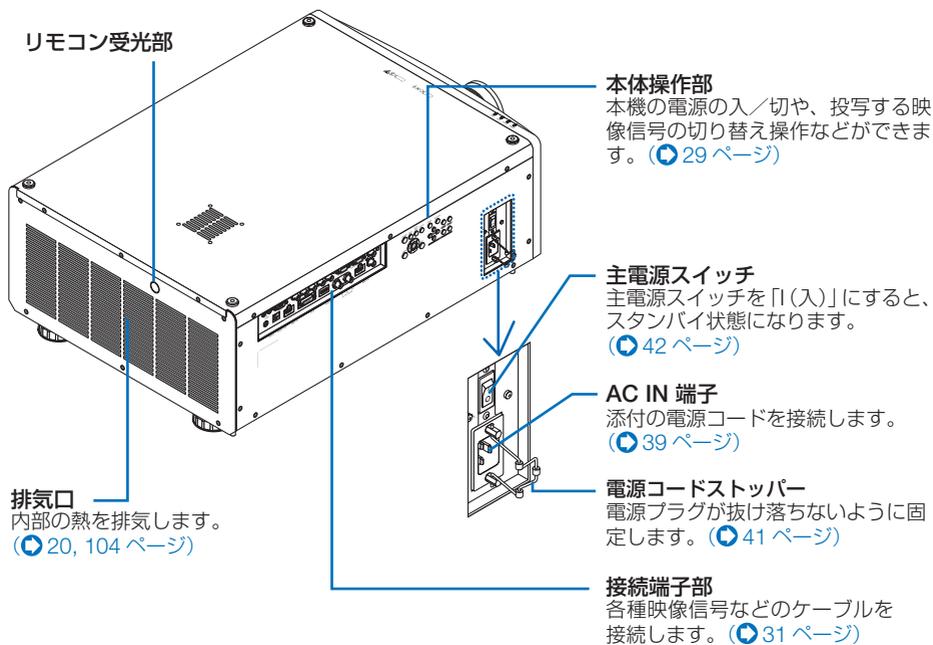
リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

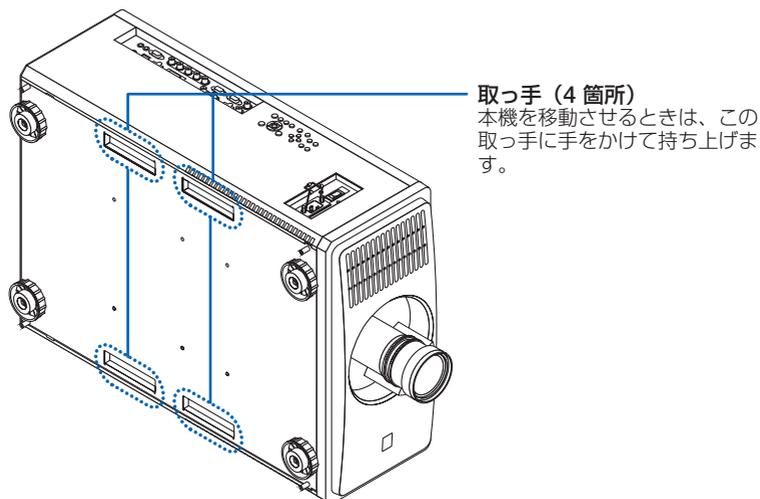
(▶ 36 ページ)

本体の前面と背面の2箇所にあります。

本体背面



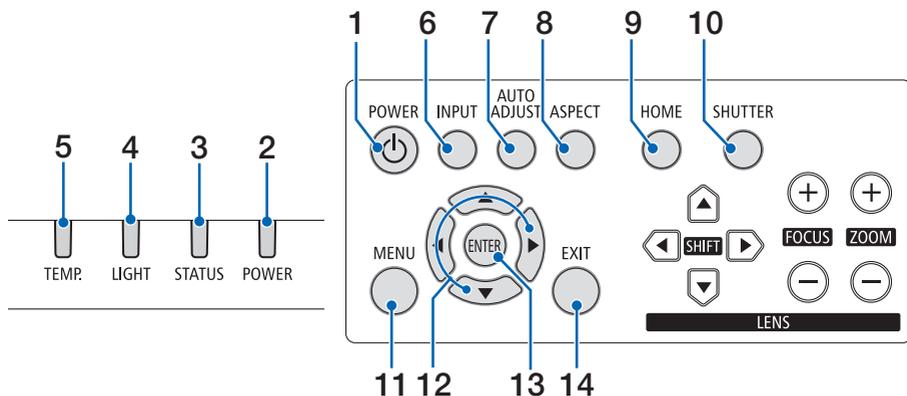
本体底面



注意

- 本機を持ち運ぶ場合は、4人以上で行ってください。4人未満で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。
- 本機を持ち運ぶ場合に、取っ手以外の部分を持たないでください。落下してけがの原因となることがあります。

本体操作部／インジケータ表示部



1 (POWER) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/スタンバイ (待機状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (POWER) ボタンを押します。

2 POWER インジケータ

本機の電源の状態を表すインジケータです。

電源が入っているときは青色に点灯します。電源が切れているときは、状態によって緑色またはオレンジ色で点灯/点滅します。詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶120 ページ)

3 STATUS インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、レンズのレンズセンタリング中などに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶120 ページ)

4 LIGHT インジケータ

光源の状態をお知らせします。(▶120 ページ)

5 TEMP. インジケータ

プロジェクター内部の温度が高くなっていることなどをお知らせします。(▶120 ページ)

6 (INPUT) ボタン

(INPUT) ボタンを押すごとに入力端子を切り替えます。

7 (AUTO ADJUST) ボタン

入力信号の自動調整を行います。

8 (ASPECT) ボタン

(ASPECT) ボタンを押すごとにアスペクトを切り替えます。

9 (HOME) ボタン

レンズシフト調整範囲を校正し、レンズシフトがホームポジションに戻ります。

10 (SHUTTER) ボタン

光源を消灯して投写光を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶54 ページ)

11 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶69 ページ)

12 (方向キー) ボタン

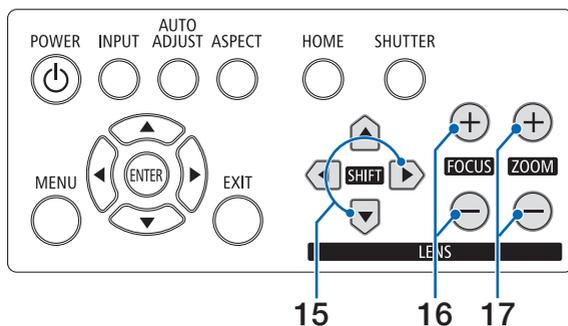
- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (方向キー) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(▶69 ページ)
- ・テストパターン表示中は、パターンを変更します。(▶79 ページ)

13 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

14 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



15 (SHIFT▲▼◀▶) ボタン

レンズシフト画面を表示します。レンズシフトを行い投写位置を調整します。

(📖 47 ページ)

16 (FOCUS +/-) ボタン

フォーカス調整画面を表示します。投写画面のピントを合わせます。

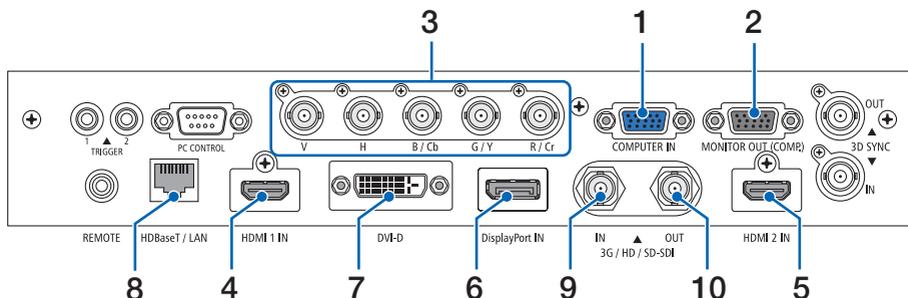
(📖 49 ページ)

17 (ZOOM +/-) ボタン

ズーム調整画面を表示します。投写画面の大きさの微調整を行います。

(📖 50 ページ)

接続端子部



1 コンピューター映像入力端子 [COMPUTER IN] (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子や、ブルーレイプレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。(🔗 101 ページ)

2 モニター出力端子 [MONITOR OUT (COMP.)] (ミニ D-Sub15 ピン)

COMPUTER 映像入力端子、BNC 入力端子のうち、投写されている映像信号を出力します。

3 BNC 入力端子 (BNC 5 芯)

市販の BNC ケーブル (5 芯タイプ) を使用して、コンピューターのディスプレイ出力端子などと接続します。(🔗 101 ページ)

4 HDMI 1 入力端子 [HDMI 1 IN] (HDMI タイプ A)

コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの HDMI 出力端子と接続します。(🔗 39, 101 ページ)

5 HDMI 2 入力端子 [HDMI 2 IN] (HDMI タイプ A)

コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの HDMI 出力端子と接続します。(🔗 39, 101 ページ)

6 DisplayPort 入力端子 [DisplayPort IN] (DisplayPort 20ピン)

コンピューターなどの DisplayPort 出力端子と接続します。(🔗 101 ページ)

7 DVI-D 映像入力端子 [DVI-D] (DVI-D 24 ピン)

コンピューターの DVI 出力端子と接続します。(🔗 101 ページ)

8 HDBaseT/LAN [HDBaseT/LAN] ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。(🔗 60 ページ)

また、本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。(🔗 101 ページ)

9 3G/HD/SD-SDI 入力端子 [3G/HD/ SD-SDI IN] (BNC)

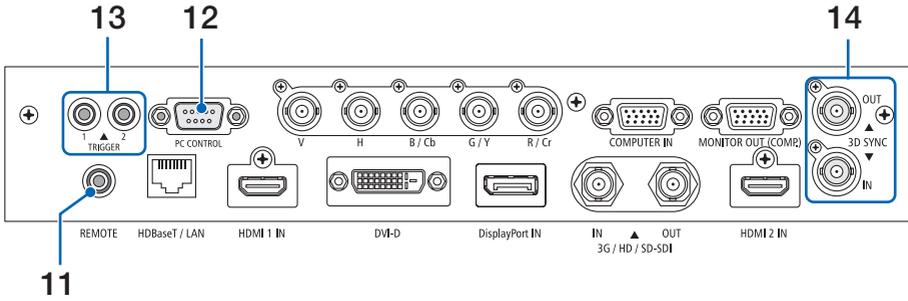
SDI 出力機器と接続します。

10 3G/HD/SD-SDI 出力端子 [3G/HD/ SD-SDI OUT] (BNC)

3G/HD/SD-SDI 入力端子の映像信号を出力します。



● 本機の HDBaseT/LAN ポートは公衆回線 (電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む) に直接接続することを意図して設計されていません。そのため HDBaseT/LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。



11 REMOTE 端子 (ステレオ・ミニ)

市販のΦ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。（☞37ページ）

注意

- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定でHDBaseTを選択しており、かつ市販のHDBaseT対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作が行えません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が行えます。

12 PC CONTROL 端子 (D-Sub 9ピン)

コンピューターで本機を操作するときを使用します。市販のシールドタイプのRS232Cケーブルを使用してください。（☞115ページ）

13 スクリーントリガー 1/2 端子

【TRIGGER 1/2】(ステレオ・ミニ)

本機の電源を入ると、スクリーンの制御電圧が出力されます。

本機の電源の入/切に応じて、スクリーンの上げ下げなどの制御を行う場合に、スクリーンコントローラーなどの機器に接続します。制御電圧の使用についてはオンスクリーンメニューの「TRIGGER 1/2」および「スクリーントリガー端子の仕様」をご覧ください。（☞99, 115ページ）

注意

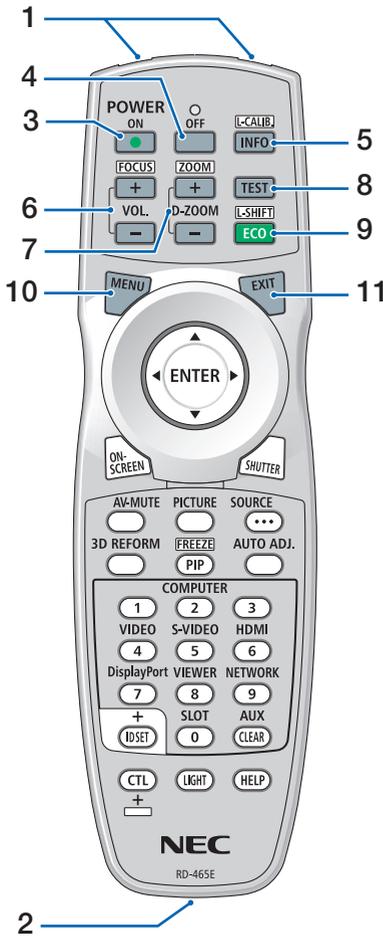
- 誤ってスクリーントリガー 1/2 端子にリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

14 3D SYNC 端子 [3D SYNC IN/OUT] (BNC)

3D同期信号が必要な3D映像視聴システムに使用します。（☞79ページ）

1-4. リモコン各部の名称

添付品名や名称を確認する



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するとき、市販のφ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を接続します。（☞37ページ）

3 POWER (ON) ボタン

スタンバイ時（POWERインジケータが緑色に点灯）に本機の電源を入れます。（※ ネットワーク設定の「待機電源」が「オン」に設定されているとき）

4 POWER (OFF) ボタン

一度押しで電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(OFF)ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

5 (INFO/L-CALIB.) ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「情報」を表示します。（☞100ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズセントリングを行います。（☞43ページ）

6 (VOL./FOCUS +/-) ボタン

(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズのフォーカスを調整します。（☞49ページ）
(VOL. ボタンの機能は、本機では使用できません。)

7 (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をデジタルで行います。（☞57ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズのズームを調整します。（☞50ページ）

8 (TEST) ボタン

テストパターンを表示します。（◀▶)ボタンでテストパターンを切り替えます。（☞79ページ）

9 (ECO/L-SHIFT) ボタン

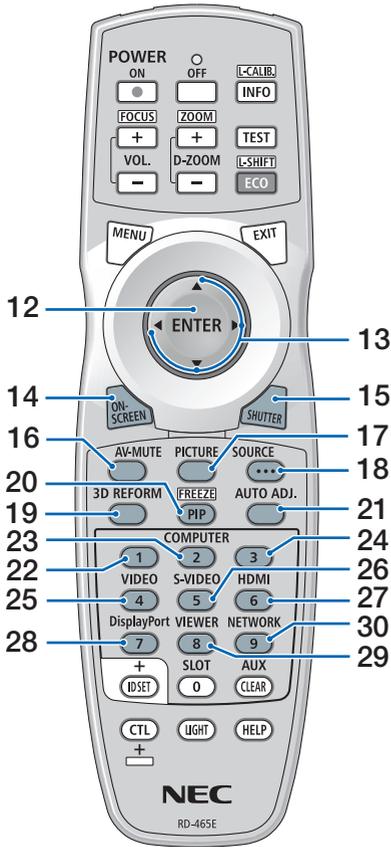
ライトモード画面を表示します。（☞58ページ）
(CTL)ボタンと同時に押すと、レンズシフト調整画面を表示します。
(◀▶)ボタンでレンズ位置を調整します。（☞48ページ）

10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

11 (EXIT) ボタン

メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



16 (AV-MUTE) ボタン
映像を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(🔗 54 ページ)

17 (PICTURE) ボタン
オンスクリーンメニューの「映像」を表示します。

18 (SOURCE) ボタン
(SOURCE) ボタンを押すごとに次の順に入力端子を切り替えます。
HDMI1 → HDMI2 → COMPUTER → BNC → DVI-D → DisplayPort → SDI → HDBaseT

19 (3D REFORM) ボタン
投写画面の台形歪みを調整します。(🔗 59, 87 ページ)

20 (PIP/FREEZE) ボタン
(CTL) ボタンと同時に押すと、表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(🔗 57 ページ)

21 (AUTO ADJ.) ボタン
投写中の画面を、最適な状態に自動調整します。

22 (COMPUTER 1) ボタン
コンピューター映像入力端子を選択します。

23 (COMPUTER 2) ボタン
BNC IN 端子を選択します。

24 (COMPUTER 3) ボタン
(本機では使用できません。)

25 (VIDEO) ボタン
(本機では使用できません。)

26 (S-VIDEO) ボタン
(本機では使用できません。)

27 (HDMI) ボタン
HDMI 入力端子を選択します。押すごとに HDMI 1 と HDMI 2 を切り替えます。

28 (DisplayPort) ボタン
DisplayPort 入力端子または DVI-D 映像入力端子を選択します。
押すごとに DisplayPort 入力端子または DVI-D 映像入力端子を切り替えます。

29 (VIEWER) ボタン
(本機では使用できません。)

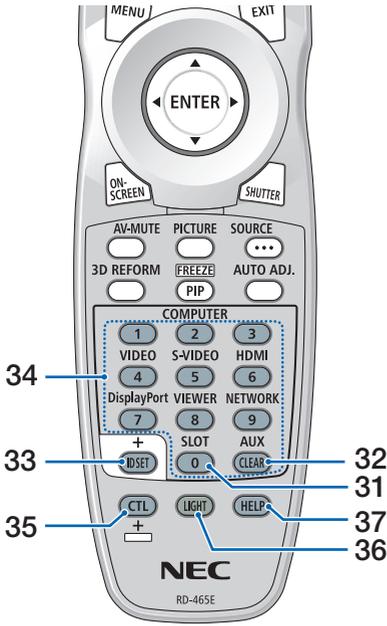
30 (NETWORK) ボタン
HDBaseT/LAN ポートを選択します。

12 (ENTER) ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

13 (◀▶▶▶) ボタン
オンスクリーンメニュー操作や (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン、(ECO/L-SHIFT) ボタンと組み合わせて使用します。(🔗 69, 57, 48 ページ)

14 (ON-SCREEN) ボタン
オンスクリーン表示を消します。(🔗 55 ページ)
もう一度押すと戻ります。

15 (SHUTTER) ボタン
光源を消灯して、投写光を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(🔗 54 ページ)



31 (SLOT)ボタン
(本機では使用できません。)

32 (AUX)ボタン
SDI入力端子を選択します。

33 (ID SET) ボタン
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。(▶ 98 ページ)

34 数字 (0 ~ 9) 入力ボタン
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。
(CLEAR)ボタンは、コントロール ID 設定を解除する場合に使用します。(▶ 99 ページ)

35 (CTL) ボタン
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

36 (LIGHT)ボタン
ボタンのバックライトが点灯します。10 秒間ボタン操作をしないと消灯します。

37 (HELP)ボタン
情報画面を表示します。(▶ 100 ページ)

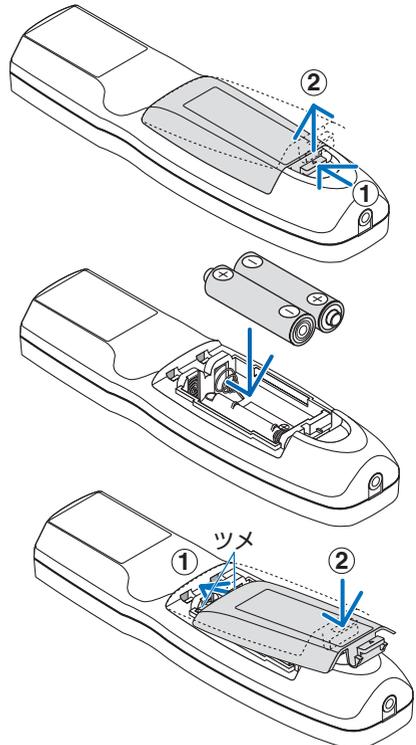
●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

2 ケース内部に表示している +、- の向きに合わせて単 3 アルカリ乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。
ふたのツメをケースのミゾに入れてからふたをしめます。

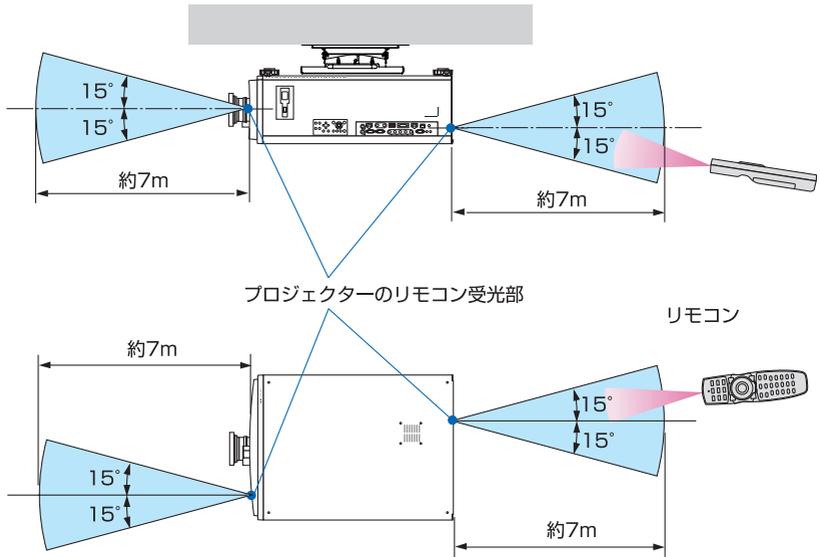
注意 ● 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 3 アルカリ乾電池をお買い求めください。



●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



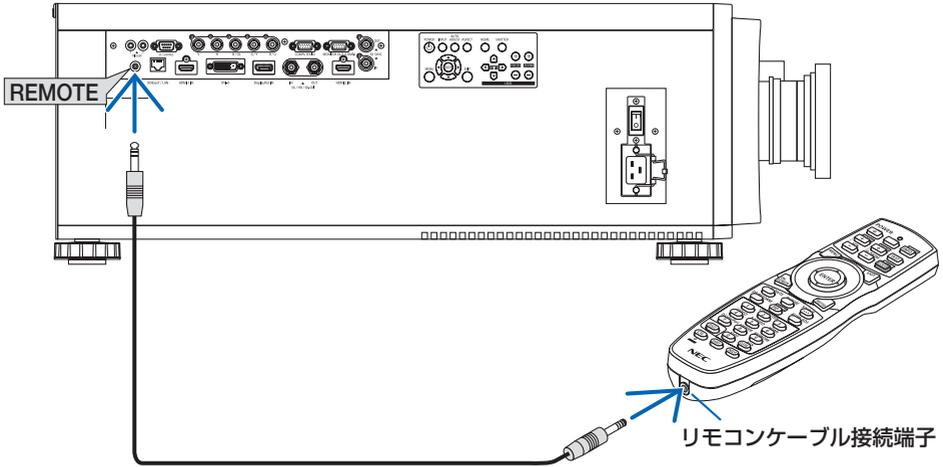
(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- ・ 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- ・ 上記の範囲内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。
- ・ 近くに当社のプロジェクターが複数台設置されている場合、リモコンで電源を入れる操作をしたときに、意図しないプロジェクターが点灯することがあるので注意してください。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- リモコンケーブルは、市販の $\phi 3.5$ ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

注意

- 誤ってスクリーントリガー 1/2 端子にリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

コンピューターと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



ステップ 2

本機の電源を入れる (▶42 ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶44 ページ)



ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶46 ページ)
台形歪みを調整する (▶59, 87 ページ)



ステップ 5

映像を調整する



ステップ 6

プレゼンテーションを行う



ステップ 7

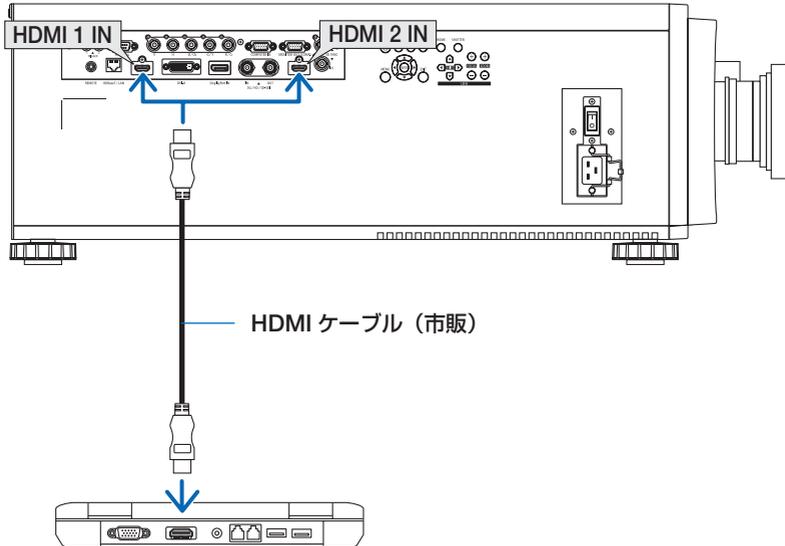
本機の電源を切る (▶52 ページ)

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5-1. 外部機器と接続する」101 ページをご覧ください。

コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子を接続します。



2. 電源コードを接続する

⚠ 注意

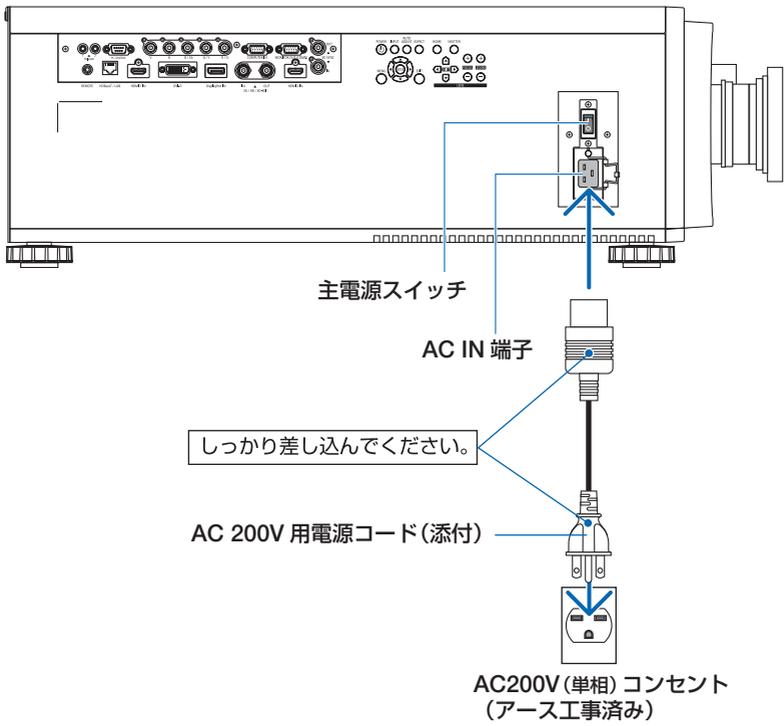
- 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。また、接続の際に、2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。
- 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 電源コードのプラグを AC IN 端子および 3 芯コンセントに接続するときは、コネクタやプラグを奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱しやけどや事故の原因となることがあります。

重要

- 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○(切)」の状態で行ってください。主電源スイッチが「I(入)」の状態で行うと、故障の原因となります。
- 三相 200V の電源には接続しないでください。故障の原因となります。

本機の電源は AC200V (単相) 用コンセント (アース付き 3 芯コンセント) に対応しています。添付の電源コードを使って、本機をコンセントに接続してください。

- ① AC200V 用電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② AC200V 用電源コードのプラグを AC200V (単相) の 3 芯コンセント (アース工事済み) に差し込む。



 注意	電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
---	---

●電源コードストッパーの使いかた

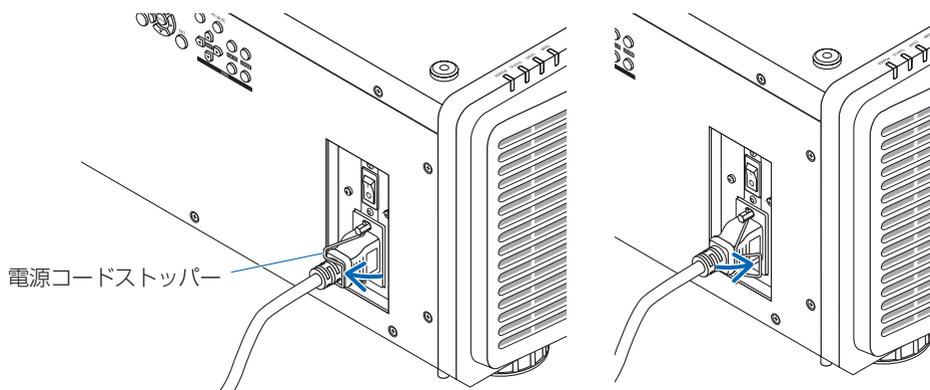
本体の AC IN 端子に接続した電源コードのコネクターが抜け落ちないように、電源コードストッパーを使って固定します。

注意

- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はコネクターを奥までしっかり押し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

① 電源コードストッパーを引き起こして、電源コードにかぶせます。

- 解除するときは、電源コードから電源コードストッパーを外して本体側へ倒します。



2-3. 本機の電源を入れる



本機の電源の入/切は、主電源スイッチと ボタン（リモコンは POWER (OFF) ボタン）の 2 段階の操作で行います。

● 電源を入れる [このページ](#)

- 1 主電源スイッチを「**I**（入）」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
- 2 ボタン（リモコンは POWER ボタン）」を押す。
本機の電源が入ります。

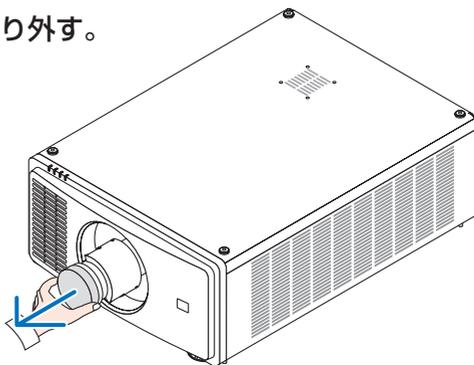
● 電源を切る [52 ページ](#)

- 1 ボタン（リモコンは POWER ボタン）」を押す。
画面に確認メッセージが表示されます。
- 2 もう一度「 ボタン（リモコンは POWER ボタン）」を押す。
本機がスタンバイ状態になります。
- 3 ファンの回転が終わったら、主電源スイッチを「**O**（切）」にする。
本機の電源が切れます。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

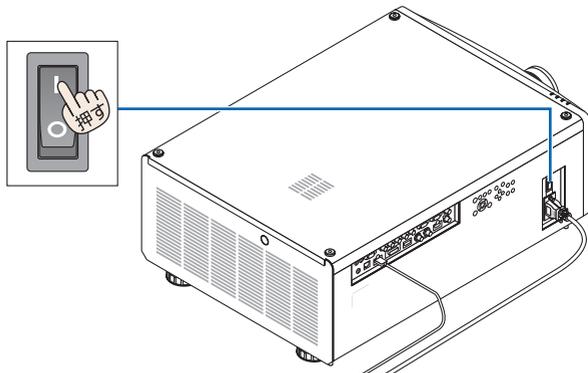


- 動作中にレンズにレンズキャップをしないください。レンズキャップが高温になり変形します。



2 主電源スイッチを「**I**（入）」にする。

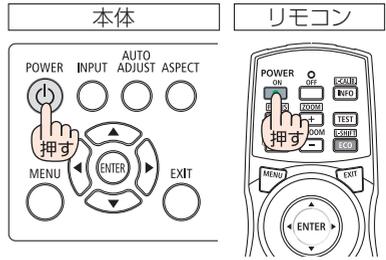
POWER インジケーターが緑色に点灯します。（ネットワーク設定の「待機電源」が「オン」に設定されているとき） [95 ページ](#)



3 電源 ボタンを押す。

POWER インジケーターが緑色の点灯から青色点滅に変わり、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。（[49 ページ](#)）

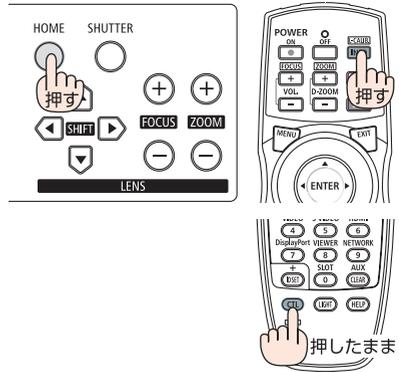


警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面（侵入禁止範囲（HD）の外）で操作してください。また、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

- 別売のレンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の (HOME) ボタンを押すか、リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「レンズセンタリング」を実行してください。
レンズセンタリングを行うことにより、レンズシフトの調整範囲を校正します。
また、レンズシフトの動作に異常が発生したときも、「レンズセンタリング」を実行してください。（[120 ページ](#)）
- ご購入後はじめて電源を入れたときは、オンスクリーンメニューが英語で表示されます。オンスクリーンメニューの表示言語は、オンスクリーンメニューの「SETUP」→「LANGUAGE」で変更することができます。（[93 ページ](#)）

スタンバイ状態 準備中 オン状態



注意

- 次のような場合は、 ボタンを押しても電源が入りません。
 - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 -  ボタンを押している間に STATUS インジケーターがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（[99 ページ](#)）
- POWER インジケーターが青色で短い点滅をしているときは  ボタンを押しても電源は切れません。

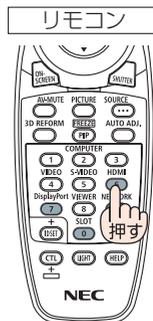
2-4. 入力信号を選択する

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。

ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するときには、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 リモコンのダイレクトボタンを押す。



接続端子	リモコンのボタン	備考
HDMI 1/2 入力端子	(HDMI)	押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。
DisplayPort/DVI-D 入力端子	(DisplayPort)	押すごとに DisplayPort と DVI-D を切り替えます。
3G/HD/SD-SDI 入力端子	(AUX)	
HDBaseT/LAN ポート	(NETWORK)	
コンピューター映像入力端子	(COMPUTER1)	
BNC 入力端子	(COMPUTER2)	

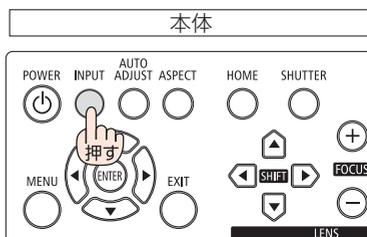
本体の (INPUT) ボタンを押して選択する

- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。

ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するときには、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 本体の (INPUT) ボタンを押す。

(INPUT) ボタンを押すごとに、HDMI1 → HDMI2 → COMPUTER → BNC → DVI-D → DisplayPort → SDI → HDBaseT と入力端子が切り替わります。



オンスクリーンメニューを表示して選択する

- 1 本体またはリモコンの **(MENU)** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- 2 「入力端子」にカーソルを合わせる。

- 3 **(▼/▲)** ボタンを押して「入力切替」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** または **(▶)** ボタンを押す。

- 4 入力端子を選択し、**(ENTER)** または **(▶)** ボタンを押す。。
入力端子が切り替わります。



参考

- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。ブルーレイプレイヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

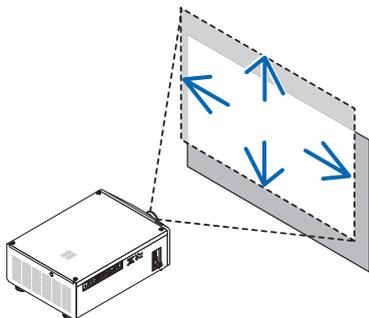
- ・ Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- ・ それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。

[\(44 ページ\)](#)

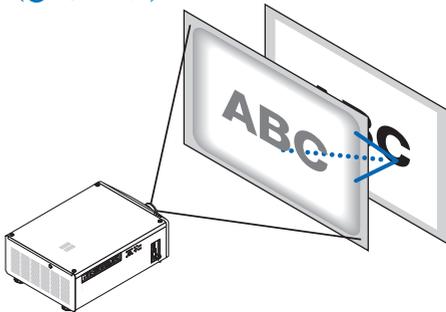
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

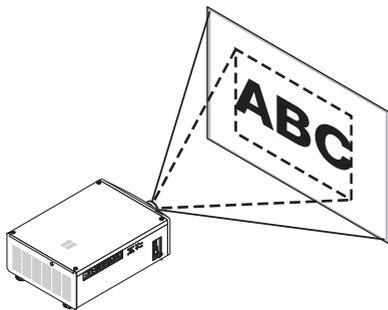
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】 (▶ 次ページ)



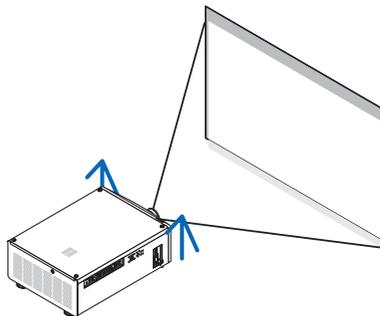
投写画面のフォーカス調整【フォーカス】
(▶ 49 ページ)



投写画面の大きさの調整【ズーム】
(▶ 50 ページ)



投写画面の高低と左右の傾き調整 (注 1)
【チルトフット】 (▶ 51 ページ)



(注 1) チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

参考

- テストパターンを表示させて調整をすると合わせやすくなります。リモコンの **(TEST)** ボタンを押すと、テストパターンを表示します。**(◀▶)** ボタンでテストパターンを切り替えます。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



注意

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。



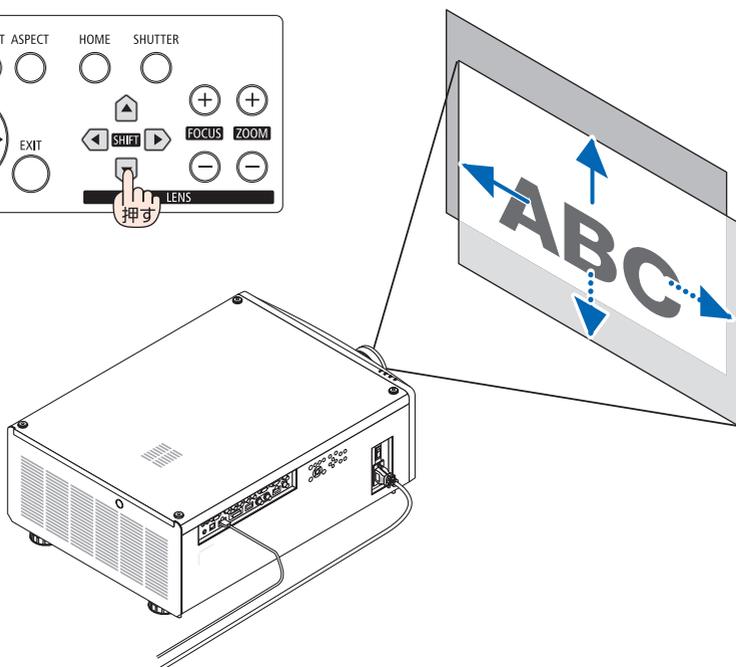
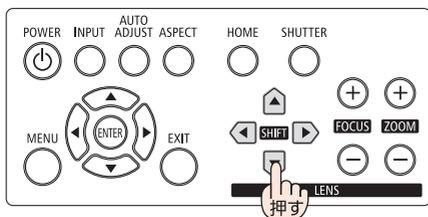
注意

- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

● 本体で調整する

1 (SHIFT ▲▼◀▶) ボタンを押す。

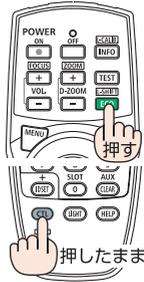
矢印の方向に投写画面が移動します。



● リモコンで調整する

- 1 (CTL) ボタンを押したまま (ECO/L-SHIFT) を押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



- 2 (上下左右) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



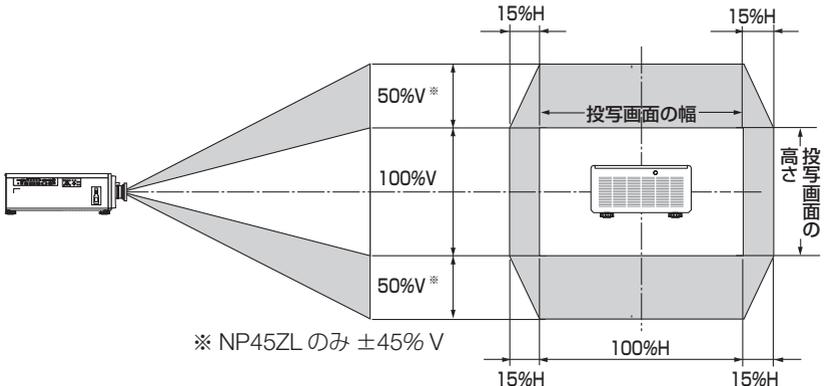
注意 レンズセンタリングについて

誤ってレンズシフト動作中に本機の電源を遮断すると、レンズのホームポジションがずれレンズシフトの動作が異常になる場合があります。その場合は、レンズセンタリングを実行してください。

操作手順

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 (HOME) ボタンを押す。
 - ・リモコンで操作する場合は(CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押します。
 レンズセンタリングが実行されます。

- 参考
- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。(51 ページ)



記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

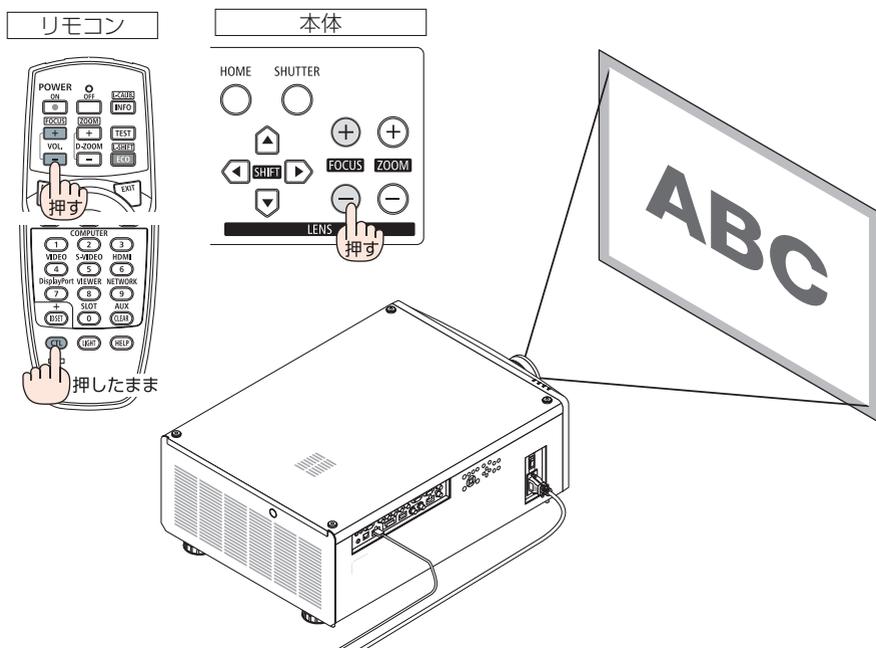
投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

テストパターンの表示については [79 ページ](#) をご覧ください。

1 FOCUS +/- ボタンを押す。

- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。



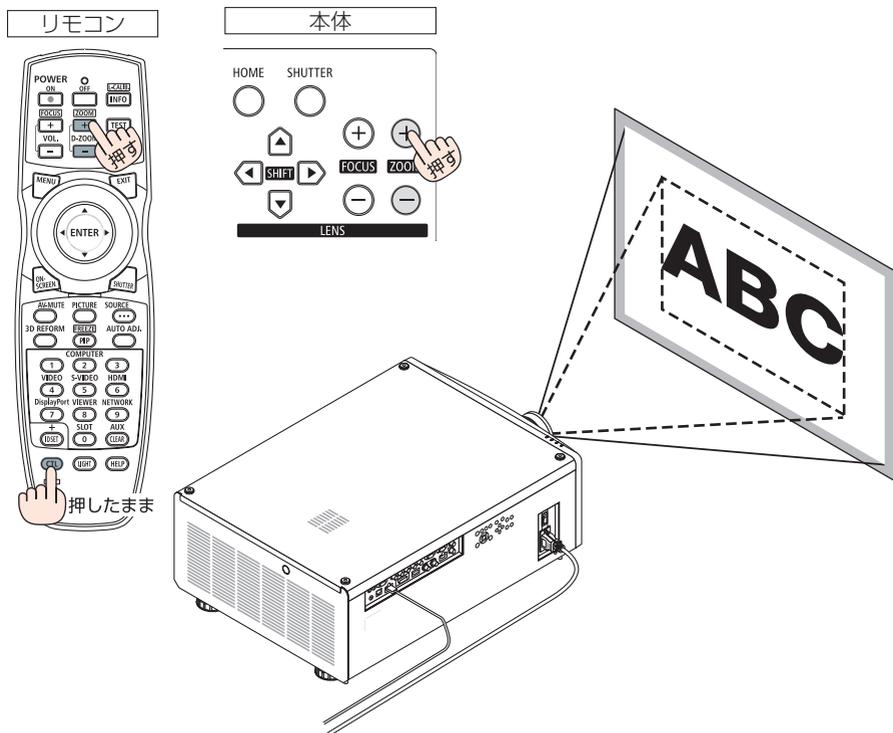
参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。
準備：投写状態にして約 1 時間ウォームアップします。
 - ① (FOCUS +/-) ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
 - ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(▶ [79 ページ](#))
・リモコンで操作する場合は、(TEST) ボタンを押します。
 - ③ テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(FOCUS -) ボタンを押します。
・リモコンで操作する場合は(CTL) ボタンを押したまま (VOL./FOCUS -) ボタンを押します。
 - ④ 最適なフォーカスになるまで、(FOCUS +) ボタンを押します。
・リモコンで操作する場合は(CTL) ボタンを押したまま (VOL./FOCUS +) ボタンを押します。
- 最適なフォーカスになる点を超えてしまった場合は、手順③④を繰り返します。

投写画面の大きさの調整 (ズーム)

1 ZOOM +/- ボタンを押してズーム (画面の大きさ) を調整する。

- ・ リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(D-ZOOM/ZOOM +/-)ボタンを押します。



投写画面の高低と左右の傾き調整 (チルトフット)

1 4箇所のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

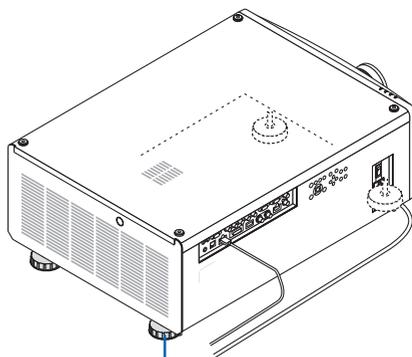
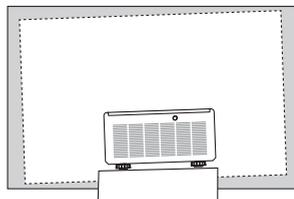
【投写画面の高低調整】

前方(2箇所)または後方(2箇所)のチルトフットを回して高さ調整をします。

【投写画面の傾き調整】

左右に傾いているときは、左側(2箇所)または右側(2箇所)どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「3-8. 台形歪みを調整する(台形補正)」(▶ 59 ページ)や幾何学補正(▶ 87 ページ)をご覧ください。
- チルトフットは、最大 10mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 1° 傾けることができます。



チルトフット
(4箇所)

注意

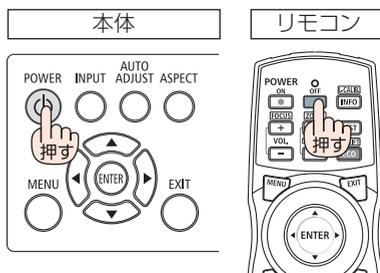
- チルトフットは 10mm 以上伸ばさないでください。10mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットを調整する場合、前後 2 箇所のアジャスターを同時に伸ばし、荷重が均等にかかるようにしてください。いずれか 1 箇所のみを調整すると、荷重が均等にかからず、アジャスターが故障の原因となります。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 本機の電源を切る

1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- ・ リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



2 もう一度電源ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。

しばらくしてスタンバイ状態に移行します。

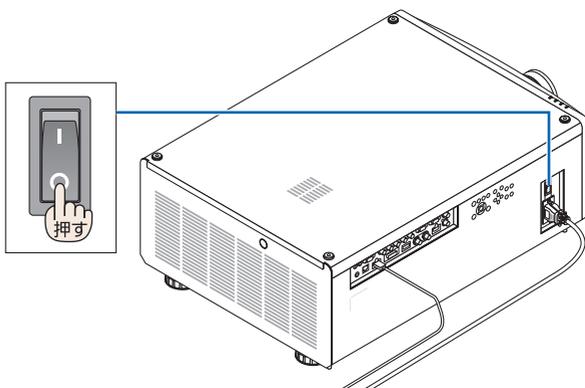
- ・ リモコンで操作する場合は、もう一度 POWER (OFF) ボタンを押します。
- ・ 電源を切らない場合は、(EXIT) ボタンを押します。

電源をオフします。
よろしいですか？

3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の POWER インジケーターが消え、主電源が切れます。

- POWER インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。



注意

投写中および冷却ファン回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



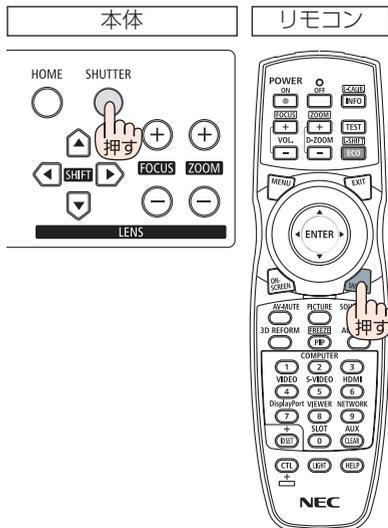
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

3. 便利な機能

3-1. 投写光を消去する (レンズシャッター)

- 1** 本体またはリモコンの (SHUTTER) ボタンを押す。

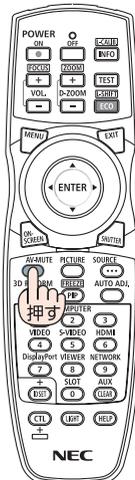
光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。
もう一度 (SHUTTER) ボタンを押すと投写されます。



3-2. 映像を消去する (AV ミュート)

- 1** リモコンの (AV-MUTE) ボタンを押す。

投写されている映像が一時的に消えます。
・もう一度 (AV-MUTE) ボタンを押すと、映像が出ます。



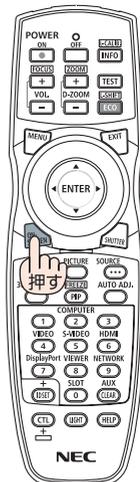
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-3. オンスクリーン表示を消去する (オンスクリーンミュート)

1 リモコンの (ON-SCREEN) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。

- もう一度 (ON-SCREEN) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。



参考

- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、(MENU) ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
- 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、本体の (MENU) ボタンを 10 秒以上押し続けます。

3-4. オンスクリーンメニューの表示位置を変更する

- 1 **MENU** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせる。
- 3 **▼/▲** ボタンを押して「メニュー設定」にカーソルを合わせ、**ENTER** または **▶** ボタンを押す。
- 4 「メニュー位置」にカーソルを合わせ、**ENTER** または **▶** ボタンを押す。
- 5 メニューを表示したい位置にカーソルを合わせ、**ENTER** または **▶** ボタンを押す。



参考

- 本機の電源を切っても、メニューの表示位置は保存されます。
- 入力端子やメッセージの表示位置は変わりません。

3-5. 動画を静止画にする (静止)

- 1** リモコンの **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押す。

ブルーレイプレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、動画に戻ります。



参考

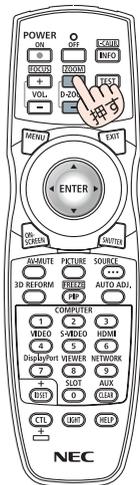
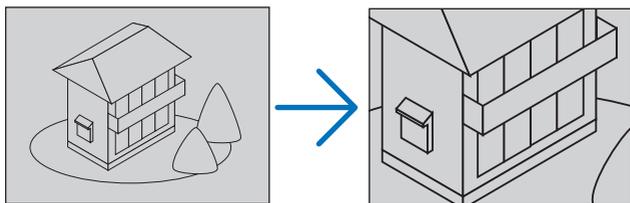
- **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-6. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

- 1** リモコンの **(D-ZOOM/ZOOM +)** ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- 最大 2 倍まで拡大できます。



- 2** **(D-ZOOM/ZOOM -)** ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。

注意

- 信号によっては、2 倍まで拡大できない場合や動作を制限する場合があります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。

3-7. 輝度(明るさ)の調整と省エネ効果 (ライトモード)

本機は、輝度(明るさ)を30～100%の範囲(1%刻み)で調整し、調整後の明るさを一定に保つように制御することができます。

また、ライトモードを「エコ」に設定すると、輝度が下がり動作音が小さくなります。それにより消費電力を抑えることができます。

オンスクリーンメニューの「セットアップ」メニューの下にある「ライトモード」の「ライトモード」、「ライト調整」および「輝度一定モード」を使用します。(▶96, 97 ページ)

機能	説明
ライトモード	本機の光源の出力を調整します。
ブースト	輝度(明るさ)が「ノーマル」より明るくなります。 ただし、消費電力が上がります。また、ご使用の環境によっては、光学部品の寿命が短くなる場合があります。
ノーマル	輝度(明るさ)が100%になり、明るい画面になります。
エコ	輝度(明るさ)が「ノーマル」の約80%になります。 輝度に応じた冷却ファンの制御により動作音が小さくなり、消費電力も下がります。
ライト調整	「ライトモード」で「ノーマル」を設定しているときに、輝度(明るさ)を30～100%の範囲(1%刻み)で調整できます。
輝度一定モード	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「輝度一定モード」を「オフ」にするまで電源を切っても記憶しています。

1 リモコンの (ECO/L-SHIFT) ボタンを押す。

ライトモード画面が表示されます。



2 ▼/▲ ボタンを押してモードを選択し、(ENTER) または (▶) ボタンを押す。

- ・ ノーマルを選択したときは、(◀▶) ボタンで明るさを調整できます。

3-8. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機の幾何学補正機能を使用して、投写画面の台形補正を行います。

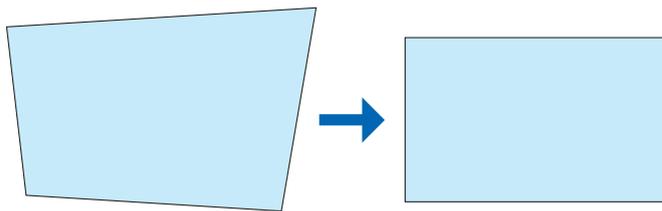
1 リモコンの (3D REFORM) ボタンを押す。

- ・ オンスクリーンメニューの場合は、「表示」→「幾何学補正」を選択します。
幾何学補正メニュー画面が表示されます。

2 (▼/▲) ボタンを押して「台形補正」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンまたは (▶) ボタンを押す。

台形補正メニューが表示されます。

3 「水平」または「垂直」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押して投写画面を調整する。



参考

- 幾何学補正メニューの機能については、(▶ 87 ページ) をご覧ください。

注意

- 水平の台形補正は、垂直レンズシフトの位置が 0 V 付近の場合に使用してください。上記以外の場合は、「左上角調整」、「右上角調整」、「左下角調整」、または「右下角調整」を使用して台形歪みを補正してください。

3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

コンピューターのウェブブラウザを使って本機の HTTP サーバー画面を表示して、本機を操作することができます。

● HTTP サーバー画面でできること

- 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います。
- 本機の操作を行います。
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、レンズ制御などが行えます。
- HTTP サーバー、PC CONTROL、CRESTRON、PJLink パスワードなどの設定を行います。

● HTTP サーバー画面を表示するには

- 1 本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続する。
- 2 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「ネットワーク設定」を選択し、ネットワークの設定を行う。（🔗 95 ページ）
- 3 コンピューターのウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ「http://〈本機の IP アドレス〉/index.html」と指定する。
HTTP サーバー画面が表示されます。

参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(👉 [31 ページ](#))

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

3-10. レンズシフト調整値を保存する (レンズメモリー)

スクリーンへの投写位置（レンズシフト）を本機のメモリーに保存します。最大 10 個を保存することができます。

そして、保存したレンズメモリーを呼び出すと、その調整値で自動的にレンズシフトが動作して投写画面の位置が移動します。

レンズメモリーに保存する

- 1 本機のレンズシフト機能を使って、投写位置を調整する。
- 2 **MENU** ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。
- 3 **◀▶** ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- 4 **▼▲** ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、
ENTER または **▶** ボタンを押す。
レンズメモリー画面が表示されます。
- 5 **▼▲** ボタンを押して、MEMORY 1 ~ MEMORY 10 の中で右側に「保存」と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、**ENTER** または **▶** ボタンを押す。
レンズシフトの調整値がメモリーに保存されます。

レンズメモリーを呼び出す

- 1 (MENU) ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 (◀/▶) ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- 3 (▼/▲) ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、
 (ENTER) または (▶) ボタンを押す。
 レンズメモリー画面が表示されます。
- 4 (▼/▲) ボタンを押して、MEMORY 1 ~ MEMORY 10 の中で右側に
 「ロード」と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、
 (ENTER) ボタンを押す。
 レンズメモリーからレンズシフトの調整値が呼び出され、自動的にレンズシフトが動作して
 投写画面の位置が移動します。

レンズメモリーに保存した調整値を消去する

- 1 (MENU) ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 (◀/▶) ボタンを押して「表示」にカーソルを合わせる。
- 3 (▼/▲) ボタンを押して「レンズメモリー」にカーソルを合わせ、
 (ENTER) または (▶) ボタンを押す。
 レンズメモリー画面が表示されます。
- 4 (▼/▲) ボタンを押して、MEMORY 1 ~ MEMORY 10 の中で右側に
 「ロード」と表示されている項目のどれかにカーソルを合わせ、 (▶)
 ボタンを押す。
 表示が「ロード」から「リセット」に変わります。
 ・ (▶) ボタンを押すごとに「リセット」と「ロード」が切り替わります。
- 5 (ENTER) ボタンを押す。
 メモリー内の調整値が消去されます。

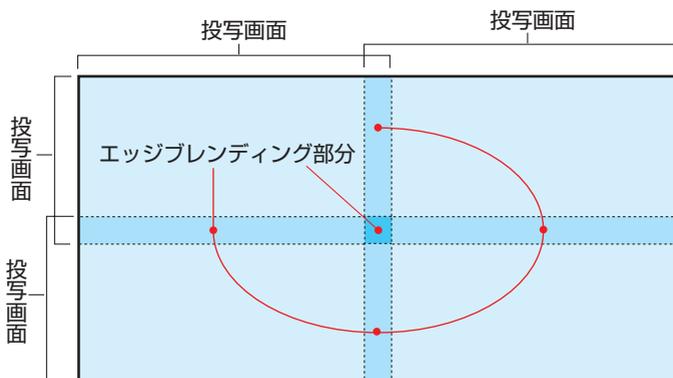
3-11. 投写画面の境界を調整する 【エッジブレンディング】

本機には、投写画面の端（境界）を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載しています。



- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整を行ってください。
- 各プロジェクターの明るさをライトモードの「ライト調整」で合わせてください。また、「映像」の「プリセット」や「ガンマ補正」などの各調整機能で画質を合わせてください。

ここでは、プロジェクター 4 台を縦横に 2 台ずつ並べた場合で説明します



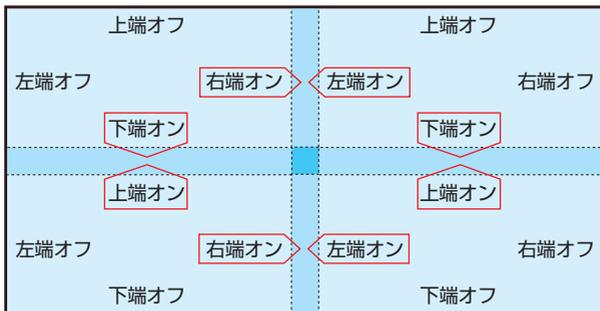
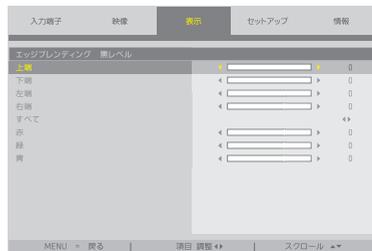
投写画面の重なりを設定する

1 メニューで「エッジブレンディング」を有効にする。

- ① (MENU)ボタンを押します。
 オンスクリーンメニューを表示します。
- ② 「表示」の「エッジブレンディング」を選択します。
 「エッジブレンディング」画面が表示されます。
 「モード」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。
 モード画面が表示されます。
- ③ 「モード」を「オン」にしてエッジブレンディングの機能を有効にします。

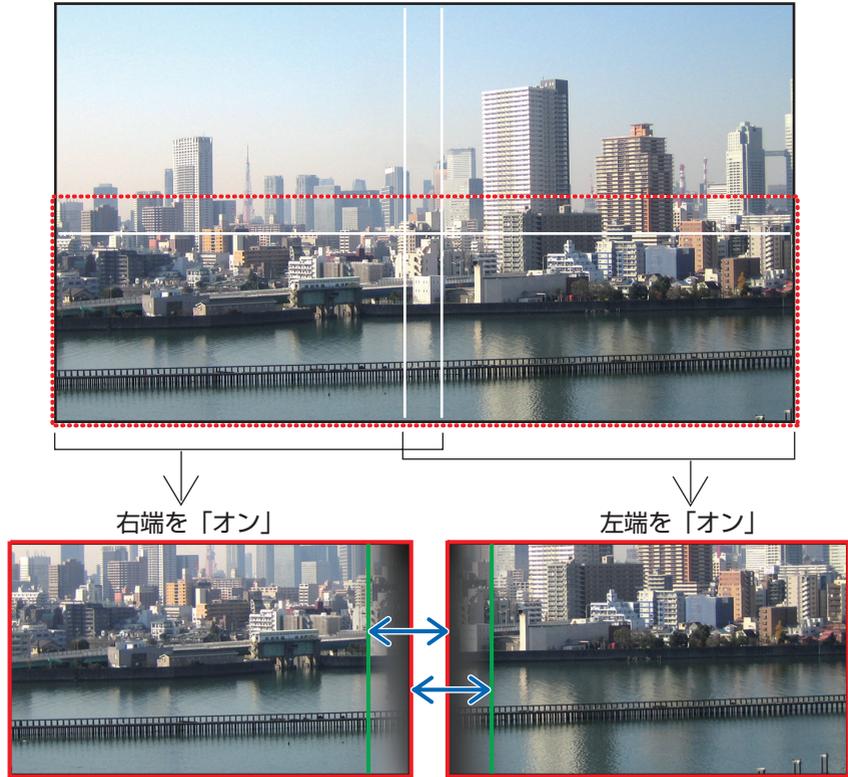


- ・「マーカー」「範囲」「黒レベル」の項目が調整可能になります。
- ・「上端」、「下端」、「左端」、「右端」の選択は、「範囲」または「黒レベル」を選択したあとに行います。



2 「範囲」を調整して、重なりあっている領域を設定する。

マーカーをオンにすると、「範囲」の設定に応じて画面に2色の線（マーカー）を表示します。赤のマーカーは映像が重なる領域の端を、緑のマーカーは重なる範囲（領域 / 幅）を表します。



※図は説明のため2画面を離して掲載しています。

「範囲」で重なる領域（幅）を調整します。

上図の場合では、左画面の緑のマーカーを右画面の赤のマーカーに、右画面の緑のマーカーを左画面の赤のマーカーに重ねるように調整します。マーカーが重なったら調整完了です。マーカーをオフにして、マーカーを消します。

参考

- 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
- マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
- マーカーを非表示にしたいときは、必ず、メニューでマーカーをオフにしてください。

投写画面が重なっている部分を調整する

必要に応じて、「黒レベル」で、映像が重なっている部分の明るさを調整します。

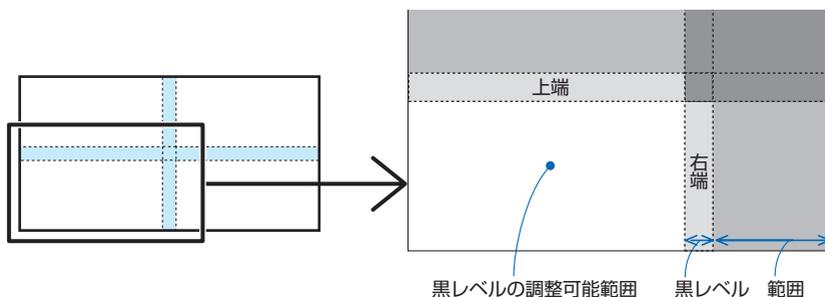
●黒レベルの調整

マルチ画面の重なっていない映像と重なっている部分（エッジブレンディング）の黒レベル調整です。

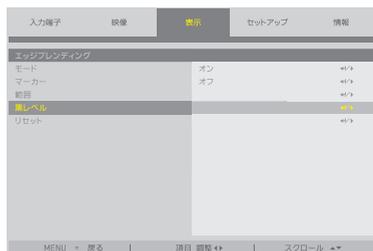
明るさの濃淡が気になる場合に調整します。

- エッジブレンディングの「範囲」と「黒レベル」の「上端」「下端」「左端」「右端」の制御をオンにした組み合わせで調整する箇所が変わります。

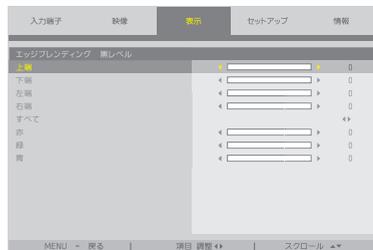
左下プロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



- 1 「表示」→「エッジブレンディング」の「黒レベル」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
黒レベル調整画面に切り替わります。

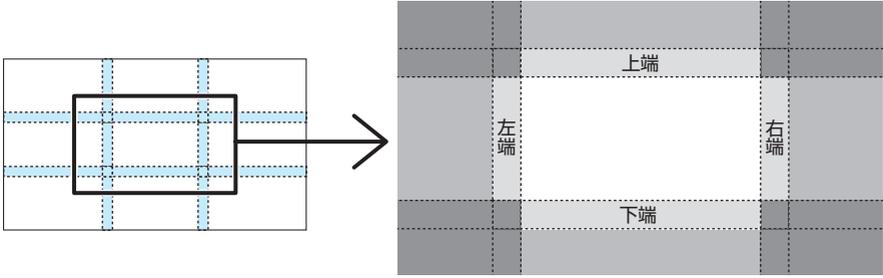


- 2 ◀▶ ボタンで黒レベルを調整する。
他のプロジェクターの調整が必要な場合は同じ要領で行ってください。



参考：9面マルチ時の黒レベル調整分割画面

センタープロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



参考

- エッジブレンディング幅は範囲で設定されている幅になります。
- 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。

4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

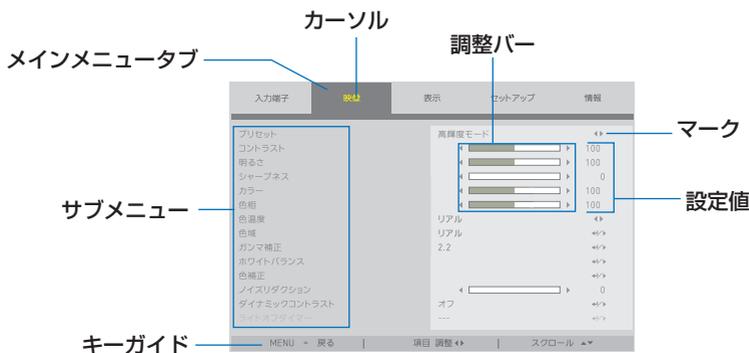
本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

4-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンの(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

- 1 (MENU)ボタンを押す。
 - ・ (EXIT)ボタンを押すと、メニューが消えます。
 - ・ 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。(メニュー表示位置 56 ページ)



- 2 (◀▶)ボタンを押す。
 メインメニュータブ (入力端子↔映像↔表示↔セットアップ↔情報) にカーソルが移動します。
 メインメニュータブが変わると、サブメニューも変わります。
- 3 メインメニュータブにカーソルがある状態で、(▲▼) ボタンを押す。
 サブメニューにカーソルが移動します。
 - ・ サブメニューからメインメニュータブに戻る場合は、(MENU)ボタンを押します。
 - ・ (EXIT) ボタンを押すと、メニューが消えます。

- 4** **▲▼** ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。
 サブメニューの右端に表示されているマークは、キー操作を表しています。
- **◀▶** …… **◀▶** ボタンを押して、設定値を選択します。
 - **◀▶/▶** …… **ENTER** ボタン、または **▶** ボタンを押して、さらに選択操作を続けます。
- 5** 目的のサブメニューにカーソルを合わせ、**◀▶** ボタン、または **ENTER** ボタンを押す。
- さらに1階層深いサブメニューが表示される場合があります。
 その場合は、**▲▼** ボタンでサブメニューにカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

4-1-2. 調整バー

調整バーの数値を変更する場合は、**◀▶** ボタンを押します。
◀▶ ボタンを押すと、メニュー画面が消え、画面の下方に調整バーが表示されます。



◀▶ ボタンを押して調整し、決定する場合は **MENU** ボタンを押します。

4-1-3. 確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに、確認メッセージが表示されます。



◀▶ ボタンを押して、「確定」または「取消」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

4-1-4. 数字の変更

メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクなどを変更する場合について説明します。

- 1 (MENU) ボタンを押して、「セットアップ」→「ネットワーク設定」を選ぶ。
NETWORK SETTINGS 画面が表示されます。

入力端子	映像	表示	セットアップ	情報
ネットワーク設定				
ネットワークモード		LAN1		↔
待機電源		オン		↔
DHCP		オフ		↔
IPアドレス		192.168. 0. 10		
サブネットマスク		255.255.255. 0		
ゲートウェイ		0. 0. 0. 0		
DNS		0. 0. 0. 0		
AMX BEACON		オフ		↔
MACアドレス		00:16:23:01:02:0B		
プロジェクト名		PJ-5522AA		
ホスト名		pj-5522AA		

MENU ◀ 戻る | 項目 調整 ⬅➡ | スクロール ▶▶

- 2 (▲/▼) ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
- 3 (◀/▶) ボタンを押して変更する数値にカーソルを合わせる。
- 4 (▲/▼) ボタンを押して数値を変更し、(ENTER) ボタンを押す。
 - (▲) ボタンを押すと、数値が増加します。(▼) ボタンを押すと数値が減少します。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目	参照ページ	
トップメニュー	サブメニュー			
入力端子	入力切替	HDMI1、HDMI2、COMPUTER、BNC、DVI-D、DisplayPort、SDI、HDBaseT	76	
	オートソース	オフ、オン		
	カラースペース	自動、YPbPr、YCbCr、RGB-PC、RGB-VIDEO		
	アスペクト	5:4、4:3、16:10、16:9、1.88、2.35、レターボックス、自動、リアル	77	
	オーバースキャン	オフ、ワイドズーム、ズーム	78	
	画像設定	水平総ドット		
		水平スタートドット		
		水平位相		
		垂直スタートライン		
	テストパターン	オフ、クロスハッチ、カラーバー、CHECKER BOARD、Vバースト、Hバースト、白、赤、緑、青、黒	79	
3D	フォーマット	自動、オフ(2D)、サイドバイサイド(ハーフ)、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル		
	アイ・スワップ	ノーマル、リバース		
	DLP® Link	オフ、オン		
	ダークタイム	0.65ms、1.3ms、1.95ms		
	同期ディレイ	0 ~ 200 (工場出荷時: 100)		
シンクリファレンス	外部、内部			
自動調整		80		
映像	プリセット	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ	81	
	コントラスト	0 ~ 200 (工場出荷時: 100)		
	明るさ	0 ~ 15 (工場出荷時: 0)		
	シャープネス	0 ~ 200 (工場出荷時: 100)		
	カラー	0 ~ 200 (工場出荷時: 100)		
	色相			
	色温度	5400K、6500K、7500K、9300K、リアル		
	色域	リアル、REC709、EBU、SMPTE		
	ガンマ補正	1.0、1.8、2.0、2.2、2.35、2.5、Sカーブ、DICOM SIM.	82	
	ホワイトバランス	コントラスト 赤		0 ~ 200 (工場出荷時: 100)
コントラスト 緑				
コントラスト 青				
明るさ 赤		0 ~ 200 (工場出荷時: 100)		
明るさ 緑				
明るさ 青				

メニュー			選択項目	参照ページ	
トップメニュー	サブメニュー				
映像	色補正	赤	色相 / 彩度 / 明度	0 ~ 200 (工場出荷時 : 100)	82
		緑	色相 / 彩度 / 明度		
		青	色相 / 彩度 / 明度		
		シアン	色相 / 彩度 / 明度		
		マゼンタ	色相 / 彩度 / 明度		
		イエロー	色相 / 彩度 / 明度		
		白	赤明度 / 緑明度 / 青明度		
		リセット			
	ノイズリダクション		0 ~ 3 (工場出荷時 : 0)		
	ダイナミックコントラスト		オフ、オン	84	
ライトオフタイマー		オフ、0.5s、1.0s、1.5s、2.0s、3.0s、4.0s			
表示	レンズロック		オフ、オン	85	
	レンズ制御	ズーム			
		フォーカス			
		シフト			
	レンズメモリー	MEMORY 1 } MEMORY 10	保存、ロード、リセット		
	レンズセントリング			86	
	デジタルズーム	デジタルズーム			
		デジタルパン			
		デジタルスキャン			
		リセット			
	幾何学補正	台形補正	水平	-600 ~ 600 (工場出荷時 : 0)	87
			垂直	-400 ~ 400 (工場出荷時 : 0)	
			回転	-10 ~ 10 (工場出荷時 : 0)	
			リセット		
		回転	回転	-100 ~ 100 (工場出荷時 : 0)	
リセット					
ピンクッション/ 樽型歪み	水平ピンクッション/ 樽型歪み		-150 ~ 300 (工場出荷時 : 0)	88	
	垂直ピンクッション/ 樽型歪み				
	台形補正 水平調整		-60 ~ 60 (工場出荷時 : 0)		
	台形補正 垂直調整		-40 ~ 40 (工場出荷時 : 0)		
	回転		-10 ~ 10 (工場出荷時 : 0)		
	リセット				
アーク	上端		-150 ~ 150 (工場出荷時 : 0)	89	
	下端				
	左端				
	右端				
	リセット				
左上角調整	水平		-192 ~ 192 (工場出荷時 : 0)		
	垂直		-120 ~ 120 (工場出荷時 : 0)		
	リセット				

メニュー		選択項目		参照ページ	
トップメニュー	サブメニュー				
表示	幾何学補正	右上 調整	水平	-192 ~ 192 (工場出荷時:0)	90
			垂直	-120 ~ 120 (工場出荷時:0)	
			リセット		
		左下 調整	水平	-192 ~ 192 (工場出荷時:0)	
			垂直	-120 ~ 120 (工場出荷時:0)	
			リセット		
		右下 調整	水平	-192 ~ 192 (工場出荷時:0)	
			垂直	-120 ~ 120 (工場出荷時:0)	
			リセット		
	プランキング	上/下	0 ~ 360 (工場出荷時:0)	91	
		左/右	0 ~ 534 (工場出荷時:0)		
		リセット			
	エッジブレンディング	モード	オフ、オン	92	
		マーカー	オフ、オン		
		範囲	上端/下端		0、100 ~ 500
左端/右端			0、100 ~ 800		
黒レベル		上端/下端	0 ~ 32 (工場出荷時:0)		
		左端/右端			
すべて					
赤/緑/青	0 ~ 255 (工場出荷時:0)				
リセット					
スクリーンタイプ		16:10、16:9、4:3	92		
セットアップ	言語		ENGLISH、DEUTSCH、FRANCAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、РУССКИЙ、日本語、PORTUGUÉS、簡体中文、繁體中文、한국어	93	
	投写方法		デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント		
	ファンモード		自動、高地	94	
	オートパワーオフ		オフ、オン		
ダイレクトパワーオン		オフ、オン			
ネットワーク設定	ネットワークモード		LAN1、LAN2	95	
	待機電源		オフ、オン		
	DHCP		オフ、オン		
	IP アドレス		XXX.XXX.XXX.XXX		
	サブネットマスク		XXX.XXX.XXX.XXX		
	ゲートウェイ		XXX.XXX.XXX.XXX		
	DNS		XXX.XXX.XXX.XXX		
	AMX BEACON		オフ、オン		
	MAC アドレス		XX:XX:XX:XX:XX:XX		
プロジェクター名		PJ-XXXXXX			
ホスト名		pj-xxxxxx			
ライトモード	ライトモード		ブースト、ノーマル、エコ	96	
	ライト調整		30% ~ 100% (工場出荷時:100%)	97	
	輝度一定モード		オフ、オン		

メニュー		選択項目	参照ページ	
トップメニュー	サブメニュー			
セットアップ	バックグラウンド		97	
	起動時ロゴ			
	リモコン	リモコン受光部設定	すべて、前側/後側、前側、後側、HDBaseT	98
		コントロールID	オフ、オン	
		コントロールID番号	1 ~ 99 (工場出荷時: 1)	
	TRIGGER-1		99	
	TRIGGER-2			
	メニュー設定	メニュー位置		左上、右上、左下、右下、中央
		メニュー透過		0、25、50、75
		表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒
メッセージ表示		オフ、オン		
	本体キーロック	オフ、オン		
情報	MODEL NO.		100	
	SERIAL NUMBER			
	FIRMWARE			
	LANCPU			
	SUB-CPU			
	コントロールID			
	入力端子			
	信号形式			
	水平/垂直の更新率			
	ピクセルクロック			
	ライト使用時間			
	温度情報	吸気温度		
		DMD 温度		
		LD 温度		
		ファン 1-4 スピード		
		ファン 5-8 スピード		
		ファン 9-12 スピード		
		ファン 13-16 スピード		
		ファン 17-20 スピード		
	ファン 21-24 スピード			
	ウォーターポンプ (RPM)			
全データリセット				

4-3. 入力端子

4-3-1. 入力切替

投写する入力端子を選択します。

選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
COMPUTER	COMPUTER 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
BNC	BNC 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DVI-D	DVI-D 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort	DisplayPort 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SDI	SDI 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT の信号を投写します。

4-3-2. オートソース

映像入力信号を自動的にチェックし、最初に検出した信号の映像を投写します。

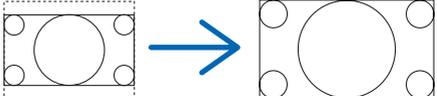
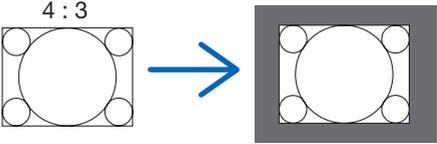
4-3-3. カラースペース

映像入力信号に応じたカラースペースを設定します。

自動	映像入力信号に応じて、自動的に対応するカラースペースに切り替えます。
YPbPr	カラースペースを ITU-R BT 601 に切り替えます。
YCbCr	カラースペースを ITU-R BT 709 に切り替えます。
RGB-PC	RGB のカラースペースを使用し、黒 (0, 0, 0) と白 (255, 255, 255) を設定します。(8 ビットカラー使用)
RGB-VIDEO	デジタルコンポーネント規格で定義されている輝度値に対応するため、RGB のカラースペースを使用し、黒 (16, 16, 16) と白 (235, 235, 235) を設定します。(8 ビットカラー使用)

4-3-4 アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

5:4	5 : 4 のサイズで投写します。
4:3	4 : 3 のサイズで投写します。
16:10	16 : 10 のサイズで投写します。
16:9	16 : 9 のサイズで投写します。
1.88	1.88:1 の (ピスタ) サイズで投写します。
2.35	2.35:1 の (シネマスコープ) サイズで投写します。
レターボックス	16 : 9 のレターボックス信号を投写します。 <div style="text-align: center;"> <p>レターボックス</p>  </div>
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度 (1920 x 1200) よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度そのまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピューター入力信号の解像度そのまま画面の中心を投写します。 <div style="text-align: center;"> <p>4 : 3</p>  </div>

参考

- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

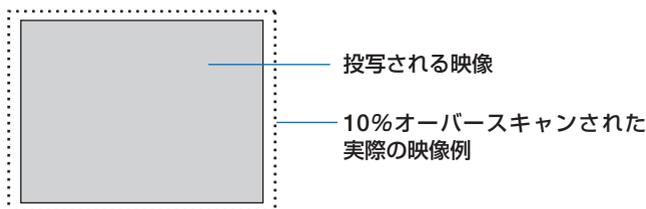
	解像度	アスペクト比
VGA	640× 480	4 : 3
SVGA	800× 600	4 : 3
XGA	1024× 768	4 : 3
WXGA	1280× 768	15 : 9
HD (FWXGA)	1366× 768	約 16 : 9
WXGA	1280× 800	16 : 10
WXGA+	1440× 900	16 : 10
WXGA++	1600× 900	16 : 9
SXGA	1280×1024	5 : 4
SXGA+	1400×1050	4 : 3
WSXGA+	1680×1050	16 : 10
FHD(1080P)	1920×1080	16 : 9
UXGA	1600×1200	4 : 3

WUXGA	1920×1200	16:10
WQXGA	2560×1600	16:10

4-3-5. オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）を設定します。

オフ	オーバースキャンを行いません。
ワイドズーム	映像の周囲を隠して投写します。
ズーム	投写画面に合うように、映像を拡大します。



4-3-6. 画像設定

アナログ映像信号を投写しているとき、画面の色ずれ、ちらつき、画面の位置を調整します。

水平総ドット	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。（クロック周波数）
水平スタートドット	画面を水平方向に移動します。（水平）
水平位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。（位相）
垂直スタートライン	画面を垂直方向に移動します。（垂直）

注意 ● クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。

4-3-7. テストパターン

テストパターンを投写します。

- ・ (◀▶) ボタンを押してテストパターンの絵柄を変更します。
- ・ (EXIT) ボタンを押すとテストパターンを消します。
- ・ リモコンの (TEST) ボタンを押すことでもテストパターンを表示できます。

テストパターンは、プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認するときや、フォーカスを調整するときに表示します。

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

4-3-8.3D

本機で 3D 映像を投写する場合に設定します。

フォーマット	3D 映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。 3D 放送や 3D 媒体に合わせた選択をします。 通常は「自動」を選択します。フォーマットの 3D 検出信号が判別できないときは、3D 入力信号のフォーマットを選択してください。	
アイ・スワップ	左映像と右映像の表示順を反転します。	
DLP® Link	DLP® Link 方式の 3D 映像を投写する場合は「オン」にします。	
ダークタイム	使用する 3D メガネに応じて設定します。	
同期ディレイ	3D メガネで 3D 同期信号がうまく受信できないときに調整します。	
シンクリファレンス	外部	映像信号に 3D 同期信号が重畳されているときに表示されます。
	内部	本機の 3D SYNC IN 端子に 3D 同期信号が入力されているときに表示されます。

⚠ 注意

● 健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト(ブルーレイプレーヤー、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど) および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常(吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど)を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

注意

- 3D エミッターを使用する場合は、3D エミッターの BNC 端子を本機の 3D SYNC に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッターから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D 映像のソフトをコンピューターで再生する場合、コンピューターの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピューターの動作条件を確認してください。
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。

4-3-9. 自動調整

実行すると、投写している画面の自動調整を行います。

- プロジェクター本体の(AUTO ADJUST)ボタンおよびリモコンの(AUTO ADJ.)ボタンを押しても自動調整を行うことができます。

注意

- 自動調整を行っても、画面が乱れる場合は、「画像設定」で調整してください。

4-4. 映像

4-4-1. プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。

4-4-2. コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

4-4-3. 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。5400K、6500K、7500K、9300K、リアルの中から設定できます。

4-4-4. 色域

投写する映像に応じて、本機の色域を変更することができます。

4-4-5. ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。
- 「DICOM SIM.」の DICOM (ダイコム) は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影 (CT)、磁気共鳴映像法 (MRI) や内視鏡などの診療で用いられています。

4-4-6. ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。
明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

4-4-7. 色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ (紫)、シアン (明るい青緑) の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く (白く) になります。
	明度	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く (黒く) になります。

緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	明度	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	明度	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	明度	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	明度	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。
イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱く（白く）なります。
	明度	イエローの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗く（黒く）なります。

白	赤明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	緑明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	青明度	白色の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動するとイエローよりに変化します。
リセット		色補正のすべての調整値を出荷時の状態に戻します。

4-4-8. ノイズリダクション

ビデオ映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。ノイズの度合いに応じて、「0」「1」「2」「3」の4段階から、ノイズリダクション効果を選択できます。

4-4-9. ダイナミックコントラスト

「オン」設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

4-4-10. ライトオフタイマー

ダイナミックコントラストを「オン」に設定しているとき、投写している画面全体が黒い場合にライトオフタイマーで設定した時間が経過するとレーザーの発光を停止します。

ライトオフタイマーを「オフ」に設定すると、黒い画面でもレーザーの発光を停止しません。

4-5. 表示

4-5-1. レンズロック

ズーム/フォーカスの調整、レンズシフト、およびレンズセンタリング機能を使用禁止にします。

レンズロックを行うことにより、レンズの調整を行ったあとに、他の人が無断でレンズの調整を行うことを防止することができます。

4-5-2. レンズ制御

ズーム/フォーカスの調整、およびレンズシフトを行います。

・レンズ制御は、プロジェクター本体およびリモコンのボタンを押しても行えます。

次の手順で操作します。

- 1** メニューで「レンズ制御」にカーソルを合わせ、**(ENTER)**、または**(▶)**ボタンを押す。
テストパターンとズーム/フォーカスの調整画面が表示されます。
- 2** フォーカスの調整を行う場合は、**(◀▶)**ボタンを押す。
- 3** ズームの調整を行う場合は、**(▼▲)**ボタンを押す。
- 4** フォーカスとズームの調整が終わったら、**(ENTER)**ボタンを押す。
レンズシフトの調整画面が表示されます。
- 5** **(▼▲◀▶)**ボタンを押す。
押したボタンの方向へレンズがシフトします。
- 6** レンズシフトが終わったら、**(ENTER)**ボタンを押す。
選択中の映像が投写され、ズーム/フォーカスの調整画面が表示されます。
上の**2**～**6**を繰り返します。
- 7** レンズ制御を終了する場合は、**(MENU)**ボタンを押す。

4-5-3. レンズメモリー

スクリーンへの投写位置（レンズシフト）を本機のメモリーに保存します。最大10個を保存することができます。

保存した調整値を呼び出すと、自動的にレンズシフトの調整を行います。

4-5-4. レンズセンタリング

レンズをホームポジションへ戻します。

この機能を行うことにより、レンズシフトの調整範囲を校正します。

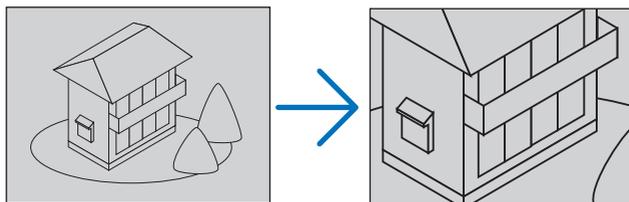
レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズセンタリングを実行してください。

(▶ 43 ページ)

4-5-5. デジタルズーム

画面を最大2倍まで拡大します。

- デジタルズームは、リモコンの **(D-ZOOM/ZOOM +)** ボタンを押しても行うことができます。



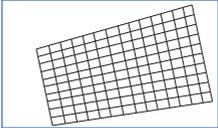
デジタルズーム	画面を最大2倍まで拡大します。
デジタルパン	デジタルズームで画面を拡大したときに、 (◀▶) ボタンを押して画面を水平方向に動かします。
デジタルスキャン	デジタルズームで画面を拡大したときに、 (◀▶) ボタンを押して画面を垂直方向に動かします。
リセット	画面をもとの状態に戻します。

4-5-6. 幾何学補正

スクリーンの斜め方向から投写した場合の投写画面の歪みを補正して、映像をスクリーンの枠に合わせます。

●台形補正

投写画面の水平方向の調整と垂直方向の調整を組み合わせると台形歪みを調整します。

水平	-600 (-60°)	0	600 (60°)
垂直	-400 (-40°)	0	400 (40°)
回転	水平方向と垂直方向の台形歪みを調整したあと、回転することができます。 		
リセット	台形補正の調整値を出荷時の状態に戻します。		

●回転

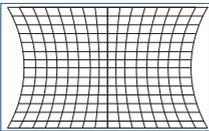
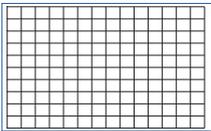
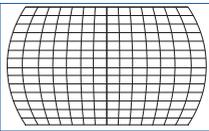
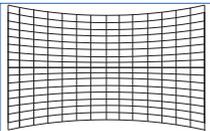
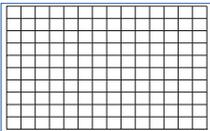
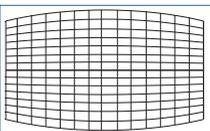
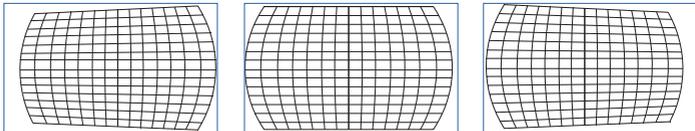
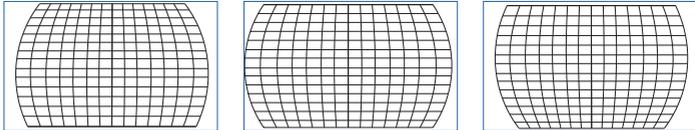
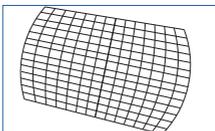
表示エリア内で画面を回転します。

回転する角度が大きくなると、画面は小さくなります。

回転	-100 (-25°)	0	100 (25°)
リセット	回転の調整値を出荷状態に戻します。		

●ピンクッション／樽型歪み

円筒形のスクリーンや球面に投写する場合に調整します。

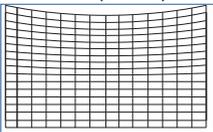
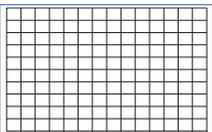
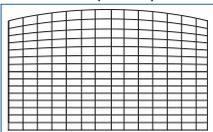
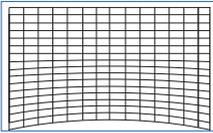
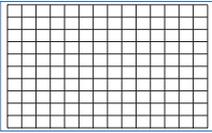
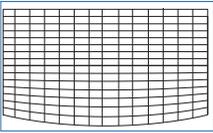
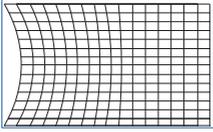
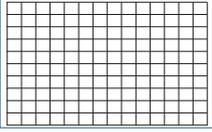
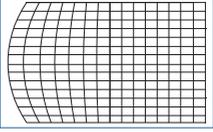
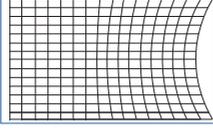
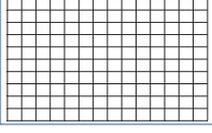
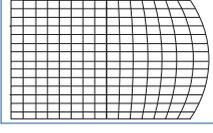
水平ピンクッション／樽型歪み	-150 (-30%) 	0 	300 (60%) 
垂直ピンクッション／樽型歪み	-150 (-30%) 	0 	300 (60%) 
台形補正 水平調整	水平方向の台形補正の調整例： 		
台形補正 垂直調整	垂直方向の台形補正の調整例： 		
回転	回転の例： 		
リセット	ピンクッション／樽型歪みの調整値を出荷状態に戻します。		

注意

- 台形補正 水平調整または台形補正 垂直調整は、水平ピンクッション／樽型歪みまたは垂直ピンクッション／樽型歪みを調整しているときに使用できます。
- 回転は、台形補正 水平調整または台形補正 垂直調整を調整しているときに使用できます。
- 表示エリア内で回転するため、回転する角度が大きくなると、画面は小さくなります。

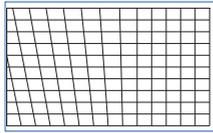
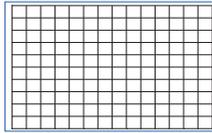
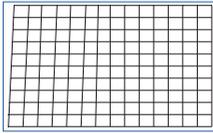
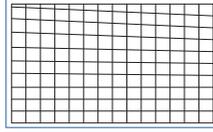
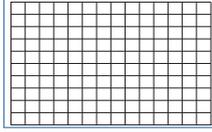
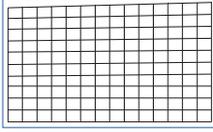
●アーク

4つの辺ごとに樽型歪みを調整します。

上端	-150 (-30%) 	0 	150 (30%) 
下端	-150 (-30%) 	0 	150 (30%) 
左端	-150 (-30%) 	0 	150 (30%) 
右端	-150 (-30%) 	0 	150 (30%) 
リセット	アークの調整値を出荷状態に戻します。		

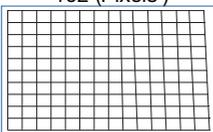
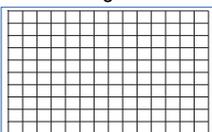
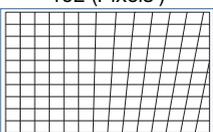
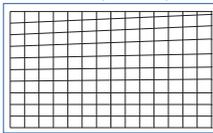
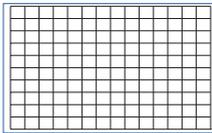
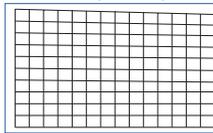
●左上角調整

左上のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels) 	0 	192 (Pixels) 
垂直	-120 (Pixels) 	0 	120 (Pixels) 
リセット	調整値を出荷状態に戻します。		

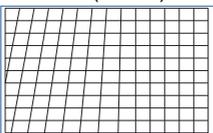
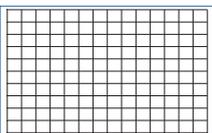
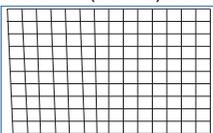
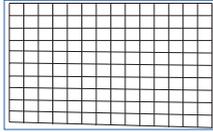
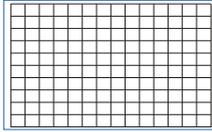
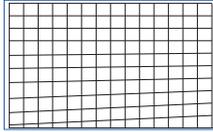
● 右上角調整

右上のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	0	192 (Pixels)
			
垂直	-120 (Pixels)	0	120 (Pixels)
			
リセット	調整値を出荷状態に戻します。		

● 左下角調整

左下のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	0	192 (Pixels)
			
垂直	-120 (Pixels)	0	120 (Pixels)
			
リセット	調整値を出荷状態に戻します。		

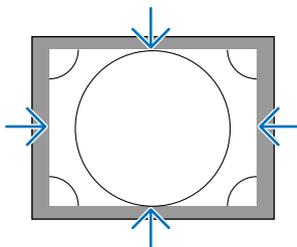
●右下角調整

右下のコーナー歪みを調整します。

水平	-192 (Pixels)	0	192 (Pixels)
垂直	-120 (Pixels)	0	120 (Pixels)
リセット	調整値を出荷状態に戻します。		

4-5-7. ブランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲（ブランキング）を調整します。

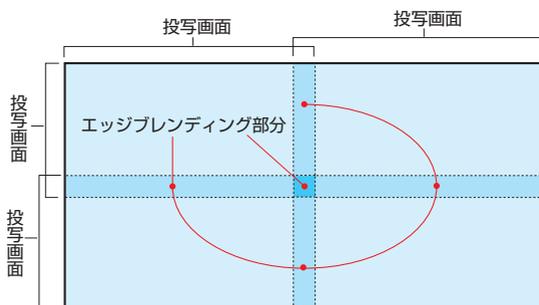


4-5-8. エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせて、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端（境界）を調整します。

モード	エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します。
マーカー	範囲と表示位置調整時にマーカーを表示するかしないかを設定します。 オンにすると、白レベルを「0」から増やしたときに、範囲調整用は緑、表示位置調整用は赤のマーカーが表示されます。
範囲	エッジブレンディングの範囲（幅）を調整します。
黒レベル	マルチ画面の重なっていない映像の黒レベルを調整します。
リセット	エッジブレンディングの調整値を出荷状態に戻します。

プロジェクター 4 台を縦横に 2 台ずつ並べて投写した画面の例



4-5-9. スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。
16:10、16:9、4:3 の中から選択します。

4-6. セットアップ

4-6-1. 言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 言語は、全データリセットを行っても変更されません。

4-6-2. 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



- 設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対にしていただき。落下してけがの原因となります。
- 侵入禁止範囲（HD）に視聴者が入らないように設置してください。

<p>デスク／フロント</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p>
<p>天吊り／リア</p>	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p>
<p>デスク／リア</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの背面から投写</p>
<p>天吊り／フロント</p>	<p>天井に設置してスクリーンの前面から投写</p>

注意 ● 投写方法は、全データリセットを行っても変更されません。

4-6-3. ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーと気圧センサーにより、適切な速度で回転します。ファンの回転音が静かです。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高地」に設定してください。
- ファンモードは、全データリセットを行っても変更されません。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。

4-6-4. オートパワーオフ

一定時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

4-6-5. ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	<p>前回電源を切るときに投写していた入力端子の信号が投写されます。</p> <p>参考 ● オートソースを「オン」にしていると、ダイレクトパワーオン時にオートソースが働きます。</p>

警告 ● プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

4-6-6. ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

注意 ●ネットワーク設定は、全データリセットを行っても変更されません。

ネットワークモード	常に「LAN1」を選択してください。「LAN2」はサービス用です。
待機電源	「オン」を選択すると、本機スタンバイ状態でも有線 LAN を経由した制御を行うことができます。 ただし、「オフ」に比べてスタンバイ状態のときの消費電力が高くなります。 参考 ● 「待機電源」を「オフ」にしても、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
DHCP	オン… DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ… ネットワーク管理者から割り当てられた任意の IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
IP アドレス	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。 IP アドレスを変更する場合は次のように操作します。 ① IP アドレスにカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押す。編集モードになります。 ② (◀▶)ボタンを押して数字を選択する。 ③ (▼▲)ボタンを押して数字を増減する。 ④ 決定する場合は(ENTER)ボタンを押す。
サブネットマスク	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。
DNS	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 DNS を変更する方法は、IP アドレスの項目を参照してください。

AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p>オン…… AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p>オフ…… AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p> <p>参考 ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバーからダウンロードする仕組みです。</p>
MAC アドレス	本機の MAC アドレスが表示されます。
PROJECTOR NAME	<p>本機のプロジェクター名が表示されます。本機のプロジェクター名を変更する場合は、HTTP サーバー機能を使用してください。</p> <p>(🔗 60 ページ)</p>
HOST NAME	<p>本機のホスト名が表示されます。</p> <p>本機のホスト名を変更する場合は、HTTP サーバー機能を使用してください。</p> <p>(🔗 60 ページ)</p>

4-6-7. ライトモード

本機の光源の出力を調整します。

ブースト	<p>輝度（明るさ）が「ノーマル」より明るくなります。</p> <p>ただし、消費電力が上がります。また、ご使用の環境によっては、光学部品の寿命が短くなる場合があります。</p>
ノーマル	輝度（明るさ）が 100% になり、明るい画面になります。
エコ	<p>輝度（明るさ）が「ノーマル」の約 80% になります。</p> <p>輝度に応じた冷却ファンの制御により動作音が小さくなり、消費電力も下がります。</p>

- 参考**
- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの「情報」→「ライト使用時間」で確認できます。(🔗 100 ページ)
 - 本機に入力信号がない状態（ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 30 秒経過すると、自動的にエコに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコはもとの設定状態に戻ります。
 - 本機は、気圧と温度を検知して出力をコントロールする機能を搭載しています。標高や温度が高い場所で使用すると、ライトモードの設定にかかわらず、輝度（明るさ）が下がります。この状態を「強制エコモード」と呼びます。強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、LIGHT インジケーターと TEMP. インジケーターがオレンジ色に点灯します。

また、強制エコモード中は、「ライトモード」の「ブースト」を設定していても無効となります。

標高 \ 温度	5℃～25℃	26℃～30℃	31℃～35℃	36℃～40℃
2,438m～4,200m	100%	90%	80%	70%
1,219m～2,438m	100%	100%	90%	80%
0m～1,219m	100%	100%	100%	80%

4-6-8. ライト調整 (ライトモード)

「ライトモード」で「ノーマル」を設定しているときに、輝度（明るさ）を30%～100%の範囲（1%刻み）で調整できます。

4-6-9. 輝度一定モード (ライトモード)

「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つよう制御します。調整値は「輝度一定モード」を「オフ」にするまで電源を切っても記憶しています。

・再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。

注意 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。

参考 ● 複数台を組み合わせるときの輝度設定は輝度を少し抑えた輝度に調整し、その後「輝度一定モード」を「オン」しておくことをおすすめします。

4-6-10. バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック、ブラックバック、NECロゴのいずれかを選択できます。

注意 ● バックグラウンドは、全データリセットを行っても変更されません。

4-6-11. 起動時ロゴ

本機を起動中に画面にNECロゴを表示するかしないかを選択します。

注意 ● 起動時ロゴは、全データリセットを行っても変更されません。

4-6-12. リモコン

リモコン受光部設定とコントロール ID の設定を行います。

- 「リモコン受光部設定」は、本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。
- 「コントロール ID」を使用すると、複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

リモコン受光部設定	すべて…前側および後側のリモコン受光部を有効にし、HDBaseT/LAN ポートのリモコン信号を有効にします。 前側／後側…前面および後面のリモコン受光部を有効にします。 前側…前面のみのリモコン受光部を有効にします。 後側…後面のみのリモコン受光部を有効にします。 HDBaseT…市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコン操作する場合に選択します。
コントロール ID	コントロール ID 機能の有効、無効を選択します。
コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を 1～99の中から選択します。

注意

- リモコン受光部設定を「HDBaseT」に設定しているとき、本機の後側のリモコン受光部は有効になります。
- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。
- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の(ENTER)ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

参考

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

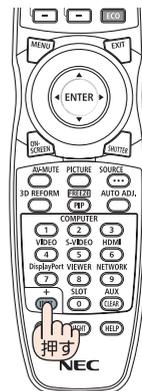
リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの(ID SET) ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。

コントロールID (動作)

このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順3でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。



3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンのIDを設定する。

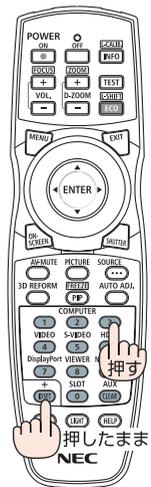
たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。
IDなし(すべてのプロジェクターを一括操作)にするには、000を入力するか、または(CLEAR)ボタンを押します。

参考 ● リモコンのIDは1～99まで登録できます。

4 (ID SET)ボタンを離す。

コントロールID画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコンIDで動作・非動作画面が更新されます。

注意 ● リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくするとIDはクリアされることがあります。
● リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定しているIDはクリアされます。



4-6-13. TRIGGER 1/2

入力された映像信号に応じて、スクリーントリガー端子から、スクリーンコントロールのための制御電圧を出力するか出力しないかを設定します。

4-6-14. メニュー設定

メニュー位置	メニューを表示する位置を変更します。5箇所から選択できます。
メニュー透過	メニューの透過率を選択します。
表示時間	メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。
メッセージ表示	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。
本体キーロック	プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。 オフ……本体操作部のボタンが働きます。 オン……本体操作部のボタンが利かなくなります(ロック)。 参考 ● 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

4-7. 情報と全データリセット

4-7-1. 情報

MODEL NO.	型名を表示します。
SERIAL NUMBER	シリアルナンバーを表示します。
FIRMWARE	メイン CPU のファームウェアのバージョン番号を表示します。
LANCPU	ネットワーク CPU のファームウェアのバージョン番号を表示します。
SUB-CPU	サブ CPU のファームウェアのバージョン番号を表示します。
コントロール ID	本体に設定されているコントロール ID を表示します。
入力端子	投写中の入力端子名を表示します。
信号形式	投写中の信号の信号形式を表示します。
水平／垂直の更新率	投写中の信号の水平・垂直周波数を表示します。
ピクセルクロック	投写中の信号のピクセルクロックを表示します。
ライト使用時間	ライト使用時間を表示します。
温度情報	吸気口の温度や本体内部の温度、各種冷却ファンの回転数、水冷ポンプの回転数などを表示します。

4-7-2. 全データリセット

本機に記憶されているすべての調整値および設定値を工場出荷状態に戻します。リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】

表示	レンズ制御
	レンズセンタリング
セットアップ	言語
	投写方法
	ファンモード
	ネットワーク設定
	バックグラウンド
	起動時ロゴ

5. 機器と接続する

5-1. 外部機器と接続する

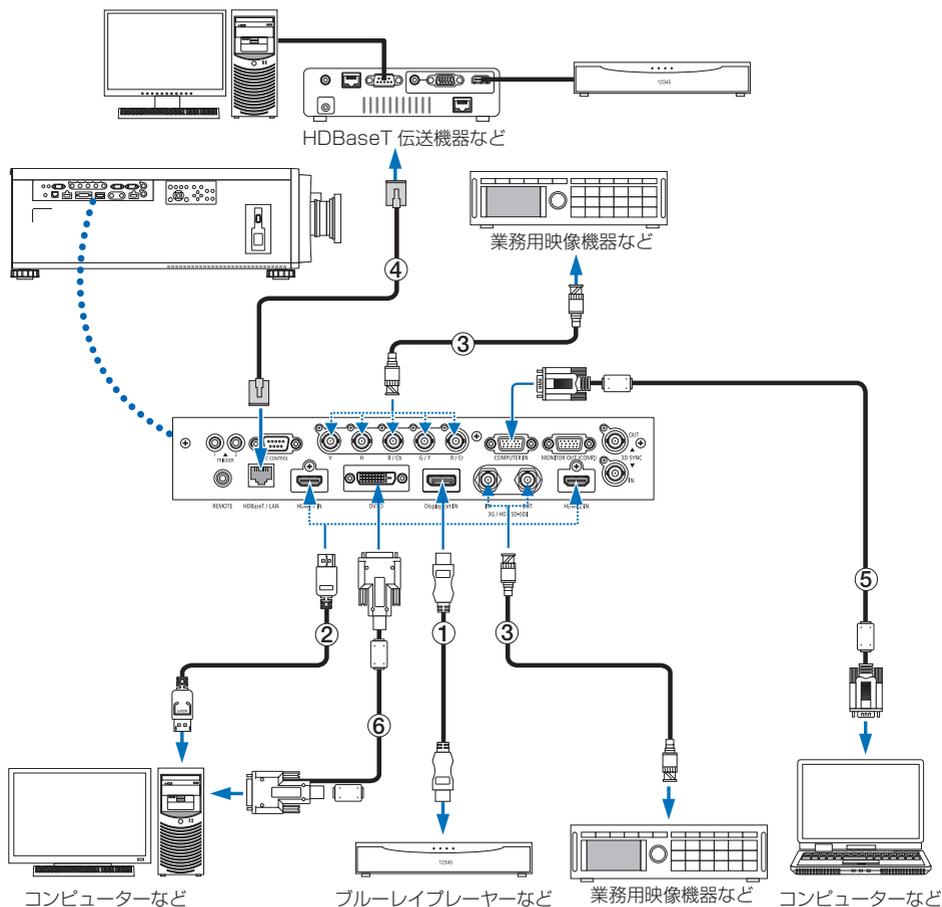
外部機器との接続例です。

接続ケーブルは添付していません。接続に合ったケーブルをご用意ください。



注意

- 本機と外部機器との接続は、必ず本機の電源が切れた状態で行ってください。その際、侵入禁止範囲（HD）に入らないようにしてください。
- 投写光が目に入ると、視力障害の原因となることがあります。
- HDMI、DisplayPort、BNC、SDI、LAN ケーブルは、シールドタイプを使用してください。シールドなしのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



① HDMI ケーブル (市販)

- 認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGHSPEED ケーブルを使用してください。
- 本機の HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子にブルーレイプレーヤーを接続している場合に、ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP (不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム) を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

② DisplayPort ケーブル (市販)

- 認証済み CERTIFIED ケーブルを使用してください。



③ BNC ケーブル (市販)

- 5C-FB 以上 (5C-FB、7C-FB など) または Belden 1694A 以上のケーブルを使用してください。また、ケーブルの長さは 100m 以下のものを使用してください。
- 信号によって使用できるケーブルの長さが変わる場合があります。

④ LAN ケーブル (市販)

- カテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。
- 本機の HDBaseT/LAN ポートは、伝送機器からの HDMI 信号 (HDCP 対応)、外部機器からの制御信号 (シリアル、LAN)、リモコン信号 (IR コマンド) に対応しています。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

⑤ コンピューターケーブル (市販)

- フェライトコア付きのケーブルを使用してください。

⑥ DVI-D ケーブル (市販)

- フェライトコア付きのケーブルを使用してください。

6. 本体のお手入れ

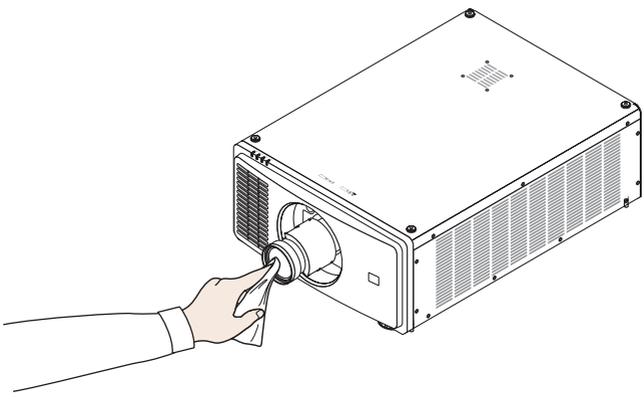
6-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



警告

- レンズを清掃する前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



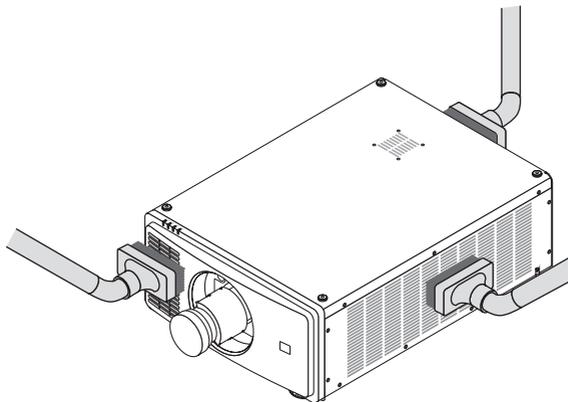
6-2. キャビネットの清掃



警告

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

7. 付 録

7-1. 投写距離とスクリーンサイズ

本機は 5 種類の別売レンズユニットが使用できます。

このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。また、レンズユニットの取り付けおよび取り外しは販売店へ依頼してください。

レンズユニットの種類と投写距離

- 注意** ● 記載している投写距離は、各レンズユニットの先端から投写画面までの距離を示します。

単位：m

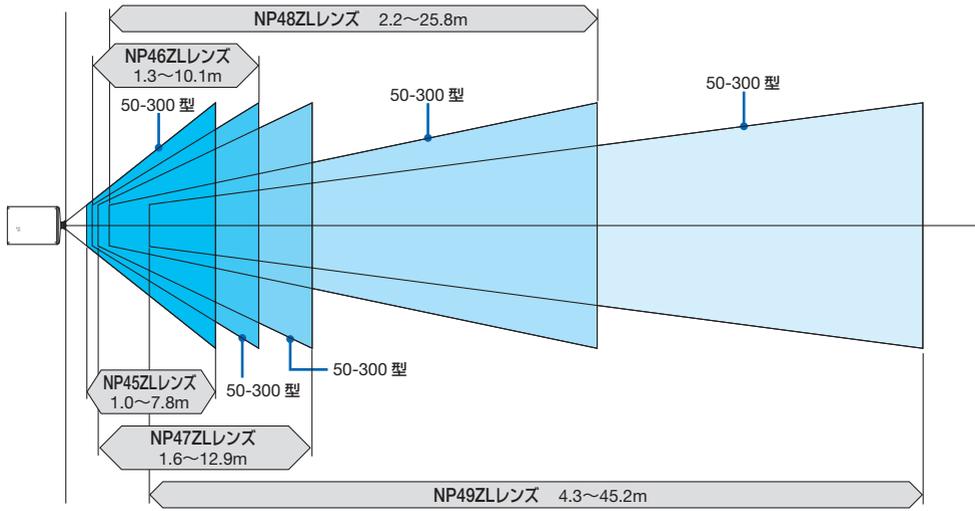
スクリーン サイズ	レンズユニットの型名				
	NP45ZL	NP46ZL	NP47ZL	NP48ZL	NP49ZL (注)
50 型 (1.27m)	0.9 ~ 1.3	1.2 ~ 1.6	1.6 ~ 2.1	2.2 ~ 4.3	4.4 ~ 7.6
70 型 (1.78m)	1.3 ~ 1.8	1.8 ~ 2.3	2.2 ~ 3.0	3.1 ~ 6.0	6.1 ~ 10.6
100 型 (2.54m)	1.9 ~ 2.6	2.6 ~ 3.4	3.2 ~ 4.3	4.3 ~ 8.5	8.6 ~ 15.0
120 型 (3.05m)	2.3 ~ 3.2	3.1 ~ 4.1	3.9 ~ 5.2	5.1 ~ 10.1	10.3 ~ 18.0
150 型 (3.81m)	3.0 ~ 4.0	3.9 ~ 5.2	4.9 ~ 6.5	6.4 ~ 12.6	12.8 ~ 22.5
180 型 (4.57m)	3.6 ~ 4.8	4.8 ~ 6.2	5.9 ~ 7.8	7.6 ~ 15.1	15.4 ~ 26.9
200 型 (5.08m)	4.0 ~ 5.3	5.3 ~ 6.9	6.5 ~ 8.7	8.5 ~ 16.8	17.1 ~ 29.9
250 型 (6.35m)	5.0 ~ 6.7	6.7 ~ 8.7	8.2 ~ 10.9	10.5 ~ 21.0	21.3 ~ 37.3
300 型 (7.62m)	6.0 ~ 8.0	8.0 ~ 10.4	9.8 ~ 13.1	12.6 ~ 25.1	25.5 ~ 44.8

- 参考** ● 画面サイズからの投写距離計算法
- NP45ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 0.9 \sim H \times 1.2$: 1.0m (最小) ~ 7.8m (最大)
- NP46ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.2 \sim H \times 1.56$: 1.3m (最小) ~ 10.1m (最大)
- NP47ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.5 \sim H \times 2.0$: 1.6m (最小) ~ 12.9m (最大)
- NP48ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 2.0 \sim H \times 4.0$: 2.2m (最小) ~ 25.8m (最大)
- NP49ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 4.0 \sim H \times 7.0$: 4.3m (最小) ~ 45.2m (最大)
- H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。
- ※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。
- (例) レンズユニット NP47ZL を使用して 100 型スクリーンに投写する場合の投写距離「スクリーンサイズと寸法表」(106 ページ) の表より、H (スクリーン幅) = 215.4cm (約 2.15m) となります。
- 投写距離は、 $2.15\text{m} \times 1.5 \sim 2.15\text{m} \times 2.0 \div 3.2\text{m} \sim 4.3\text{m}$ となります (ズームレンズのため)。

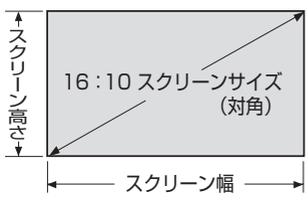
(注) 米国および中国に限定

NP49ZL は、米国と中国においては、2020 年 4 月に発売予定です。

詳細については、現地の販売店にお問い合わせいただくか、当社の現地販売会社のホームページをご覧ください。



スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型 (cm))	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
50 (127)	107.7	67.3
70 (178)	150.8	94.2
100 (254)	215.4	134.6
120 (305)	258.5	161.5
150 (381)	323.1	201.9
180 (457)	387.7	242.3
200 (508)	430.8	269.2
220 (559)	473.9	296.2
250 (635)	538.5	336.5
280 (711)	603.1	376.9
300 (762)	646.2	403.9
350 (889)	753.9	471.2
400 (1016)	861.6	538.5
450 (1143)	969.3	605.8
500 (1270)	1077.0	673.1

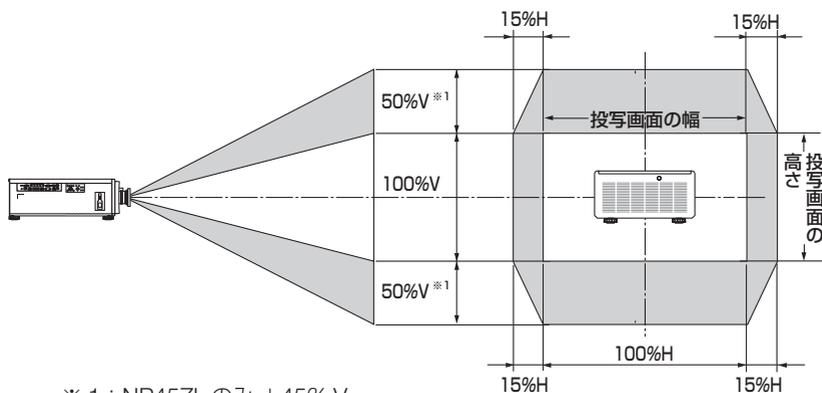
レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能 (47 ページ) があります。次の範囲内のレンズシフトができます。



- ポートレート投写を行う場合は、レンズシフト機能は使用しないでください。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



※ 1：NP45ZL のみ $\pm 45\% V$

※ 2：天吊り設置の場合もレンズシフト範囲は同じです。

(計算例) 150 インチで投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」 (106 ページ) のスクリーン表により $H=331.9\text{cm}$ 、 $V=187.0\text{cm}$ になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $0.5 \times 187.0\text{cm} = 93.5\text{cm}$ 、下方向 $0.5 \times 187.0\text{cm} = 93.5\text{cm}$ (NP45ZL のみ 84.2cm) 投写画面を移動することができます (レンズが中心位置の場合)。

水平方向の調整範囲：左方向 $0.15 \times 331.9\text{cm} \approx 49.8\text{cm}$ 、右方向 $0.15 \times 331.9\text{cm} \approx 49.8\text{cm}$ 投写画面を移動することができます (レンズが中心位置の場合)。

※ 3：簡易計算式のため数%の誤差があります。

7-2. 対応解像度一覧

アナログRGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/75/85
SVGA	800 × 600	4 : 3	60/75/85
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85
XGA+	1152 × 864	4 : 3	75
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/85
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75/85
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60/75
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*1}	16 : 10	60 Reduced Blanking
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75

HDMI/HDBaseT

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*1}	16 : 10	60 Reduced Blanking
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV(480i/p)	1440 × 480	16 : 9	60
	720 × 480	4 : 3	
SDTV(576i/p)	1440 × 576	16 : 9	50
	720 × 576	4 : 3	

次ページに続く

DisplayPort

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*1}	16 : 10	60 Reduced Blanking
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV(480p)	1440 × 480	16 : 9	60
	720 × 480	4 : 3	
SDTV(576p)	1440 × 576	16 : 9	50
	720 × 576	4 : 3	

BNC

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV(480p)	720 × 480	4 : 3	60
		16 : 9	
SDTV(576p)	720 × 576	4 : 3	50
		16 : 9	

SDI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
SD-SDI(480i)	720 × 480	4 : 3	60
		16 : 9	
SD-SDI(576i)	720 × 576	4 : 3	50
		16 : 9	
HD-SDI(1035i)	1920 × 1035	16 : 9	60
HD-SDI(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24pSF
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30
HD-SDI(720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60

DVI-D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 *1	16 : 10	60 Reduced Blanking

HDMI 3D

信号 解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920×1080p	16:9	23.98/24	Frame Packing
		50	Side by Side (Half)
			Top and Bottom
		59.94/60	Frame Sequential
			Side by Side (Half)
		Top and Bottom	
59.94/60	Frame Sequential		
	Side by Side (Half)		
1920×1080i	16:9	50	Side by Side (Half)
		59.94/60	Side by Side (Half)
1280×720p	16:9	50	Frame Packing
			Top and Bottom
		59.94/60	Frame Packing
			Top and Bottom

DisplayPort 3D

信号 解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
1920×1080p	16:9	50	Top and Bottom
			Side by Side (Half)
			Frame Sequential
		59.94/60	Top and Bottom
			Side by Side (Half)
			Frame Sequential
1280×720p	16:9	50	Top and Bottom
		59.94/60	Top and Bottom

*1: リアル表示

- 本機の解像度を超える信号は圧縮表示により対応。
- 圧縮表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になったり、色かにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。

7-3. 仕様

型名		NP-PX2000ULJD	
方式		1 チップ DLP 方式	
主要 部品 仕様	DMD パネル	サイズ	0.96 型 (24.4 mm)、アスペクト比 16:10
		画素数 ^{(*)1}	2,304,000 画素 (1920 ドット × 1200 ライン)
	投写レンズ		投写レンズ仕様 (別売) をご覧ください。 (🔗次ページ)
	光源		レーザーダイオード
光学装置		カラーフィルター回転による色分離	
明るさ ^{(*)2}	ライトモード	ノーマル時 : 18,000lm ^{(*)3} / 19,000lm (センター) ブースト時 : 19,000lm ^{(*)3} / 20,000lm (センター)	
コントラスト比 ^{(*)2} (全白/全黒)		10,000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)	
画面サイズ (投写距離)		「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。 (🔗105 ページ)	
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)	
走査周波数	水平	デジタル : 15KHz、24 ~ 153KHz VESA 準拠	
	垂直	デジタル : 24, 25, 30, 48Hz、50 ~ 85Hz、100, 120Hz VESA 準拠	
主な調整機能		電動ズーム、電動フォーカス、電動レンズシフト、入力信号切替 (HDMI1/HDMI2/COMPUTER/BNC/DVI-D/DisplayPort/SDI/HDBaseT)、画像自動調整、画面拡大、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など	
最大表示解像度 (横 × 縦)		アナログ : 1920 x 1200 (WUXGA) デジタル : 2560 x 1600 (WQXGA) (圧縮して表示)	
入力信号		R,G,B,H,V	RGB : 0.7Vp-p/75Ω H/V Sync : 4.0Vp-p/TTL Sync on G : 1.0Vp-p/75Ω (With Sync)
入出力端子	HDMI	映像入力	HDMI® コネクタタイプ A×2 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 ^{(*)4}
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort×1 データレート : 5.4Gbps/2.7Gbps/1.62Gbps レーン数 : 1 レーン/2 レーン/4 レーン Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 ^{(*)4}
	HDBaseT/ LAN ポート	映像入力	RJ-45×1、100BASE-TX 対応 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 ^{(*)4}
	SDI (3D/HD/SD)	映像入力	BNC×1 入力信号 : SMPTE259M、SMPTE292M、SMPTE424M Colorimetry : YCbCr422、REC709、REC601 対応
		映像出力	BNC×1

型名			NP-PX2000ULJD
入出力端子	コンピューター	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン ×1、BNC 端子 ×5
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン ×1
	DVI-D	映像入力	DVI-D×1
	3D SYNC IN	制御入力	BNC×1、3D 用同期信号入力 1920x1200 RB 120Hz、Frame Sequential
	3D SYNC OUT	制御出力	BNC×1、3D 用同期信号出力
	TRIGGER 1/2	制御出力	ステレオミニジャック ×2
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン ×1、9600bps
	リモート端子		ステレオミニジャック ×1
使用環境 ^(*5)			動作温度 : 5 ~ 40℃ 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 60℃ 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 : 0 ~ 4200m
電源			AC 200 -240V 50/60Hz ^(*6)
消費電力	ライトモード	ブースト時	1922W
		ノーマル時	1779W
		エコ時	1461W
	スタンバイ時	待機電源オン	4.8W
		待機電源オフ	0.4W
定格入力電流			9.7A
外形寸法			530 (幅) ×248 (高) ×745 (奥行) mm (突起部含まず) 530 (幅) ×274.5 (高) ×748 (奥行) mm (突起部含む)
質量			51kg (レンズユニット含まず)

(* 1) : 有効画素数は 99.99%です。

(* 2) : 別売のレンズユニット(NP47ZL)を装着しライトモードが「ノーマル」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。ライトモードを「エコ」にすると明るさが低下します(エコ: 約 80%)。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(* 3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(* 4) : HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI、HDBaseT を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DisplayPort 入力端子、HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、DisplayPort 入力端子、HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディーブカラー : 色深度): 8/10/12 ビット

HDMI : HDCP 1.4 に対応

DisplayPort : HDCP 1.3 に対応

HDBaseT : HDCP 1.4 に対応

(* 5) : 標高と温度により「強制エコモード」になります。 (96 ページ)

(* 6) : 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品。

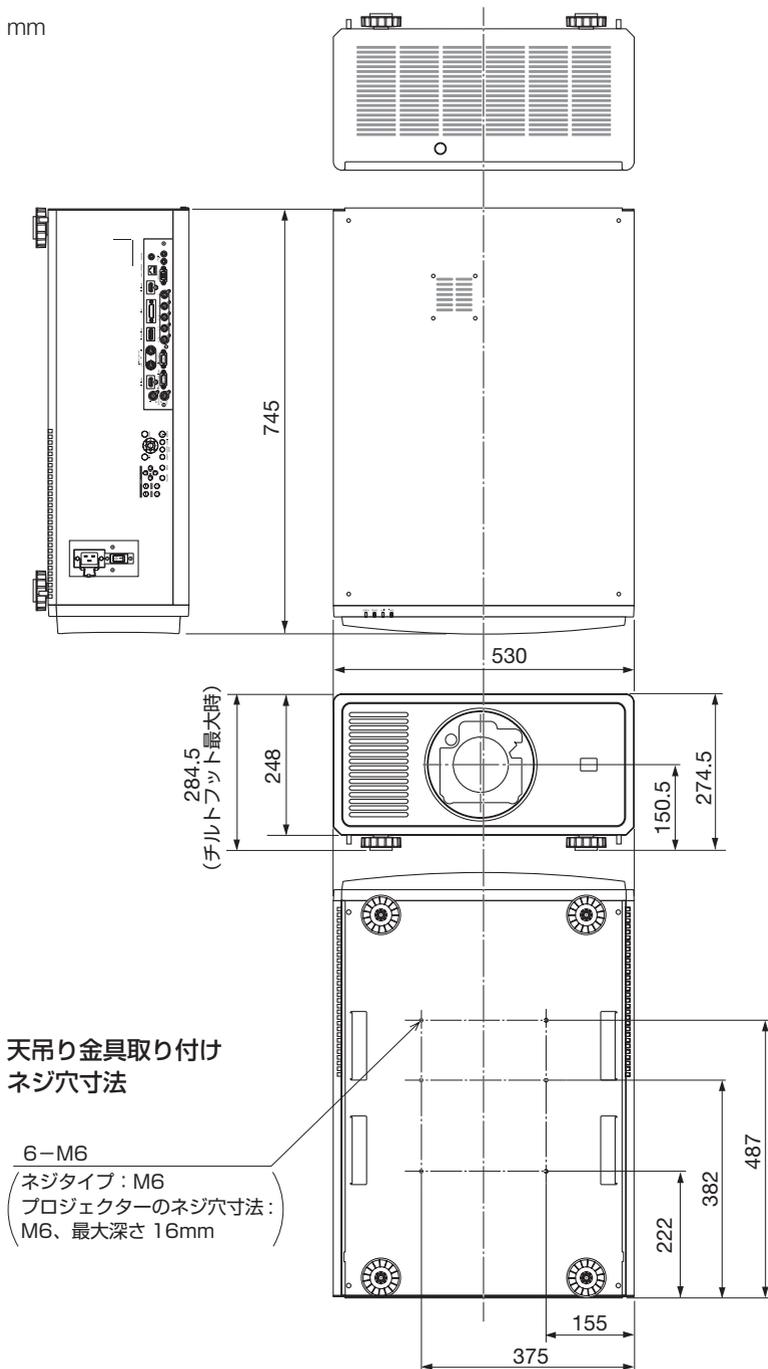
・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●投写レンズ仕様 (別売)

NP45ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 0.9 ~ 1.2 : 1、F 2.2 ~ 2.53、f=19.34 ~ 25.76mm)
NP46ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.2 ~ 1.56 : 1、F2.18 ~ 2.66、f=25.69 ~ 33.22mm)
NP47ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.5 ~ 2.0 : 1、F2.17 ~ 2.65、f=31.90. ~ 42.20mm)
NP48ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 2.0 ~ 4.0 : 1、F2.17 ~ 2.64、f=42.60 ~ 84.80mm)
NP49ZL	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 4.0 ~ 7.0 : 1、F2.2 ~ 2.57、f=83.93 ~ 146.85mm)

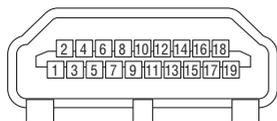
7-4. 外観図

単位：mm



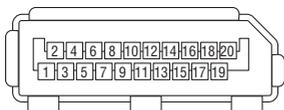
7-5. 主な端子のピン配列と信号名

● HDMI IN 1/2 端子 (タイプ A)



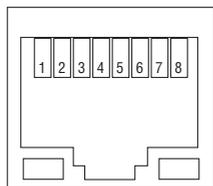
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック-
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		

● DisplayPort IN 端子 (DisplayPort)



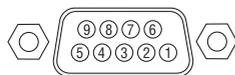
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン 3 -	11	接地 0
2	接地 3	12	メインリンク レーン 0 +
3	メインリンク レーン 3 +	13	コンフィグ 1
4	メインリンク レーン 2 -	14	コンフィグ 2
5	接地 2	15	補助チャンネル+
6	メインリンク レーン 2 +	16	接地 4
7	メインリンク レーン 1 -	17	補助チャンネル-
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン 1 +	19	リターン
10	メインリンク レーン 0 -	20	+3.3V 電源

● HDBaseT/LAN ポート (RJ-45)



ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

● PC CONTROL 端子 (D-Sub 9 ピン)

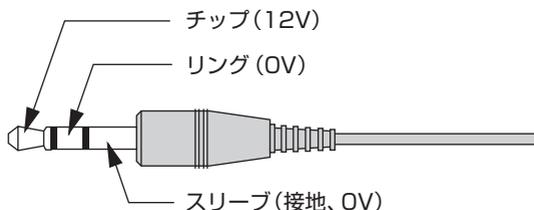


ピン番号	信号
1	未使用
2	TxD 送信データ
3	RxD 受信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

●スクリーントリガー端子 (ステレオ・ミニ)

本機には、スクリーンをコントロールするための制御電圧を出力する、スクリーントリガー端子があります。

- スクリーントリガー端子を有効にするには、本機のメニューの [セットアップ] の [TRIGGER 1/2] を「オフ」以外にします (🔗99 ページ)。
- 市販のステレオミニケーブルを使用して、本機のスクリーントリガー端子と、市販のスクリーンコントロール機器を接続します。詳しくは、スクリーン・メーカーにお問い合わせください。
- 本機のスクリーントリガー端子から出力される制御電圧は次のとおりです。



- スクリーントリガー端子は、スクリーンコントロール以外の目的では使用しないでください。誤ってリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

7-6. 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	39
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	122
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	52
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオートパワーオフを「オン」にしていますか。	94
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	44
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	101
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	81
	(SHUTTER) (レンズシャッター) または (AV-MUTE) (AV ミュート) ボタンが押されていませんか。	54
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、118 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子および DisplayPort 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。お使いのコンピューターに内蔵されているビデオカードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、ビデオカードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS232C が対応できない場合があります。	—
各設定が正しく調整・設定されていますか。	72	

映像が出ない	それでも解決しない場合は、全データリセットを行ってください。	100
映像が歪む	正しく設置されていますか。	46
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	59, 87
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	49
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	46
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	105
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	107
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	96
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	36
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	35
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	36
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	36
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	98
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	120
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	52

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。

特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(▶ 100 ページ)

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

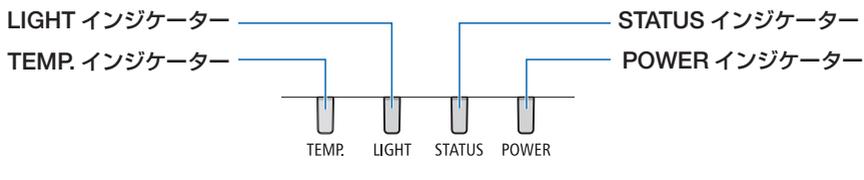
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

7-7. インジケータ表示一覧

本体操作部の4つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の状態を表しています。



●通常のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	主電源が切れている
 オレンジ色 (点滅 ^{#1})	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スタンバイ状態 (ネットワーク設定の「待機電源」が「オフ」のとき)  95 ページ
 緑色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	スリープ状態 (ネットワーク設定の「待機電源」が「オン」のとき)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 緑色 (点灯)	 (消灯)	電源オン状態 (ライトモードが「ノーマル」)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 緑色 (長い点滅 ^{#2})	 (消灯)	電源オン状態 (ライトモードが「エコ」)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 緑色とオレンジ色の点滅	 (消灯)	電源オン状態 (ライトモードが「ブースト」)
(各状態)	 オレンジ色 (2回周期点滅 ^{#3})	(各状態)	 (消灯)	レンズセントリング実行要求 (画面にレンズセントリング実行要求のメッセージを表示)
 青色 (点灯)	 緑色 (2回周期点滅 ^{#3})	(各状態)	 (消灯)	レンズセントリング中
 青色 (点灯)	(各状態)	 (消灯)	 (消灯)	レンズシャッターが「閉」の状態 (光源が消灯)
 青色 (短い点滅 ^{#4})	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源オン準備中

次ページに続く

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	行ってください
 青色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	(各状態)	 (消灯)	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗99 ページ)
				プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	コントロールIDを確認してください。(🔗98 ページ)
 青色 (点灯)	 (消灯)	 オレンジ色 (点灯)	 オレンジ色 (点灯)	周囲高温 (強制エコモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。

- *1 1.5 秒点灯 /7.5 秒消灯 のくり返し
- *2 2.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し
- *3 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 /0.5 秒点灯 /2.5 秒消灯 のくり返し
- *4 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し

●異常時のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	行ってください
 赤色 (短い点滅 *4)	 赤色(点灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源電圧エラー	本機は電源電圧 AC 200V ~ 240V 専用です。AC 200V ~ 240V の電源に接続してください。
 赤色 (短い点滅 *4)	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度 (5 ~ 40℃) を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
 赤色 (短い点滅 *4)	 赤色(点灯)	 赤色 (点灯)	 (消灯)	レンズ未装着	レンズが正しく取り付けられているかを確認してください。
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	 (消灯)	修理が必要な異常発生中	NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

- *4 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、電源インジケーターが赤色で短く点滅します。その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・ 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 [104 ページ](#))
- ・ 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

7-8. トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※ このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 常時 時々(回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> Ⓞ ボタンを押しても電源が入らない。 <input type="checkbox"/> 主電源スイッチは「入 (I)」側になっている | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。 |
|---|---|

映像・音声関係

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。 <input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。 <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。 <input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
() <input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。 <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。 <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。 <input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 <input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。 <input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。 <input type="checkbox"/> コンピューター映像入力力で文字がちらついたり、色がずれている。 <input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。 <input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 <input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

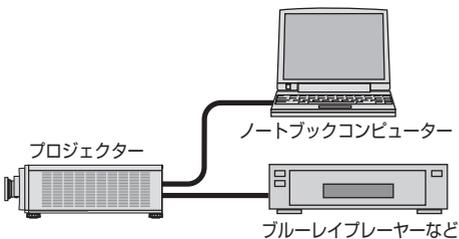
プロジェクター
 型名: NP-PX2000ULJD
 製造番号:
 購入時期:
 ライト使用時間:
 エコモード: オフ オン

入力信号情報:
 水平同期周波数 [kHz]
 垂直同期周波数 [Hz]
 同期極性 H (+) (-)
 V (+) (-)
 同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク

設置環境
 スクリーンサイズ: 型
 タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m
 投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
 (他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム (ロール式) を利用している。
 (他、接続機器の数: 台)



コンピューター
 メーカー:
 型名:
 ノートブックコンピューター・デスクトップ型
 解像度:
 リフレッシュレート:
 ビデオボード:
 その他:

信号ケーブル
 純正・その他 (型名: 長さ: m)
 分配器 型名:
 スイッチャー 型名:
 アダプター 型名:

接続機器
 ビデオ・ブルーレイプレーヤー・カメラ・ゲーム・その他
 メーカー:
 型名:

7-9. 別売品／商標について

●別売品

商 品 名		型 名
レンズユニット	ズームレンズ	NP45ZL
	ズームレンズ	NP46ZL
	ズームレンズ	NP47ZL
	ズームレンズ	NP48ZL
	ズームレンズ	NP49ZL

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、NaViSet、ProAssist は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。



- ・ HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ DLP® および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。
- ・ PJLink および PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

7-10. 保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。(ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (☎裏表紙) をお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(☎116 ページ) に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(☎123, 124 ページ) で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●修理形態

保証書をご覧ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター	
型名	NP-PX2000ULJD	
お買い上げ日	年	月 日
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所		
お名前	法人名、ご担当者名	
電話番号		

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ () -
-----------	-------------	---------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフが受け
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

NECディスプレイソリューションズ株式会社